
三田市
在宅介護実態調査
報告書

令和2年7月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 調査票の回収状況	1
(4) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
(1) 回答の記入者	2
(2) 世帯類型	2
(3) 現在抱えている傷病	3
3. 親族による介護	4
(1) 介護の頻度	4
(2) 主な介護者の属性	5
(3) 介護の内容	7
(4) 介護離職	9
4. 支援・サービス	13
(1) 介護保険サービス（利用状況、満足度、利用していない理由）	13
(2) 介護保険サービス以外の支援・サービス	15
(3) 在宅生活に必要な支援・サービス	16
(4) 施設等への入所・入居の検討状況	17
(5) 訪問診療の利用状況	17
(6) 認知症高齢者について	18
5. 自由意見	20
6. 認定データを使用した集計	21
(1) 在宅限界点向上のための支援・サービスの提供体制の検討	21
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	29
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	35
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	41
(5) 医療ニーズのある在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	45
(6) 家族介護に対する支援・サービスの提供体制の検討	49

1. 調査概要

(1) 調査目的

この調査は、令和3年度から令和5年度までの「三田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（いきいき安心プラン21）」の策定を行うにあたって、介護離職を防止する観点も踏まえたサービス提供体制を構築するため、「要介護者が安心して在宅生活を続けること」「家族等介護者の就労の継続」に有効な介護サービスの在り方を検討するために実施しました。

(2) 調査の実施について

以下の調査を実施しました。

対象者	在宅で介護を受けている要介護（要支援）認定者 1200 名
実施期間	令和2年4月23日（木）～5月15日（金）
実施方法	郵送

(3) 調査票の回収状況

	配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
全体	1,200	760	759	63.3%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
3. 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer）、3LA（3 Limited Answer）と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
4. クロス集計については、厚労省が推奨する在宅介護実態調査の自動集計分析ソフト（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社作成）を用いて、回答結果と認定データを突合・集計しています。認定データと突合ができない回答及び無回答を除いた集計となっています。

2. 回答者の属性

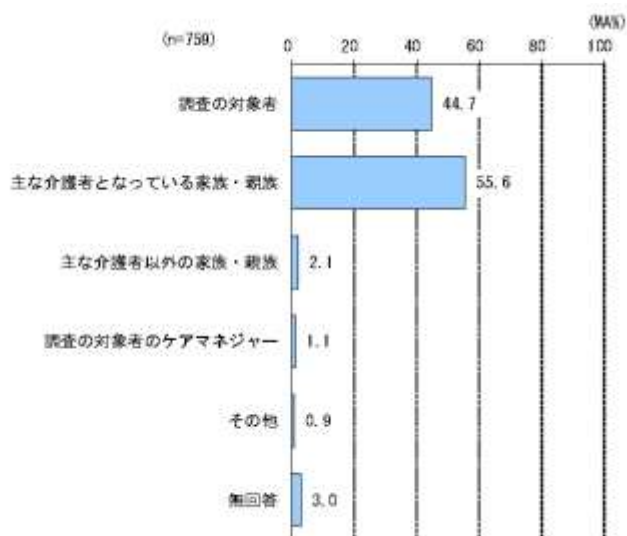
(1) 回答の記入者

- 問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(いくつでも)

【全体】

- 回答者について、「主な介護者となっている家族・親族」が55.6%で最も多く、次いで「ご本人」が44.7%、「主な介護者以外の家族・親族」が2.1%となっています。

【回答者】



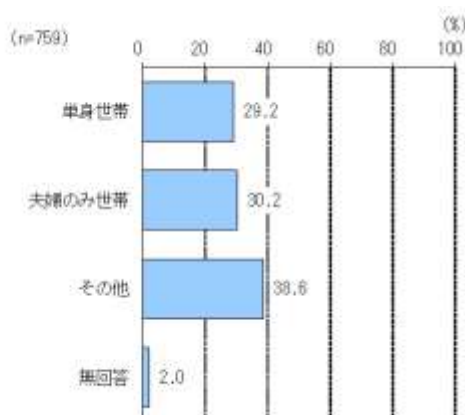
(2) 世帯類型

- 問2 調査の対象者の世帯類型について、ご回答ください。

【全体】

- 世帯類型について、「夫婦のみ世帯」が30.2%、「単身世帯」が29.2%となっています。

【世帯類型】



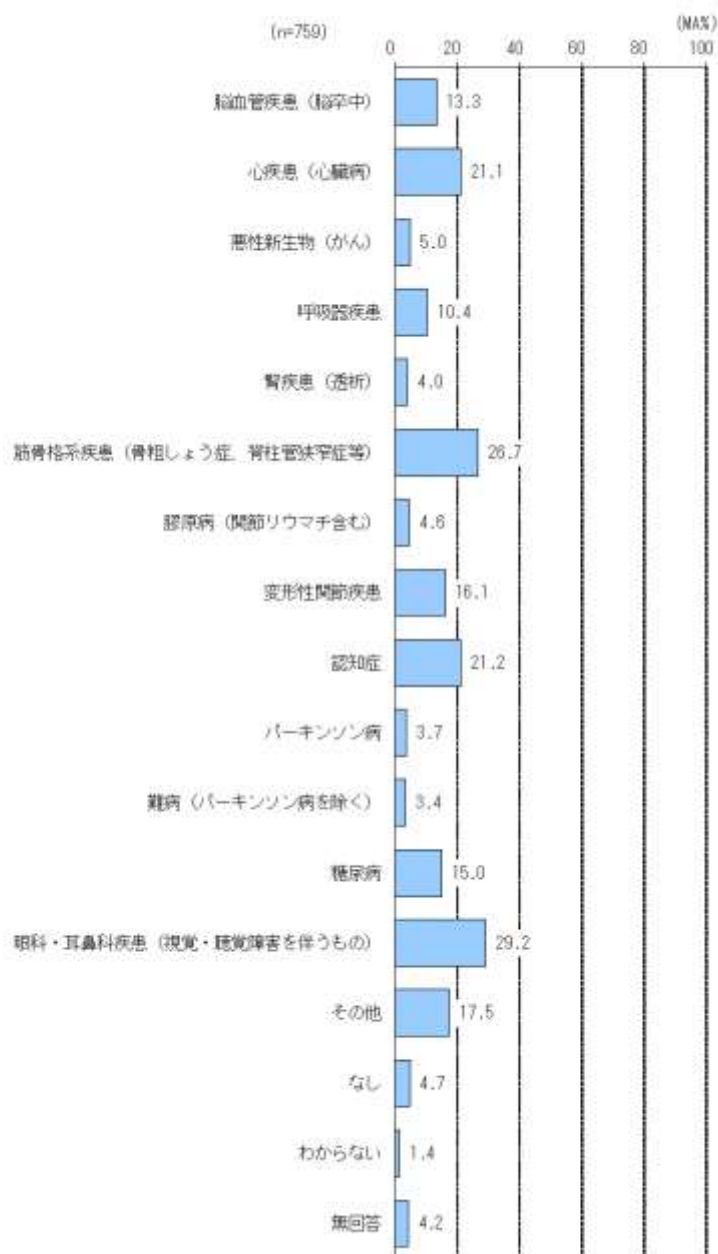
(3) 現在抱えている傷病

- 問 12 調査の対象者が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(いくつでも)

【全体】

- 現在抱えている傷病について、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 29.2%で最も多く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 26.7%、「認知症」が 21.2%となっています。

【現在抱えている傷病 (MA)】



3. 親族による介護

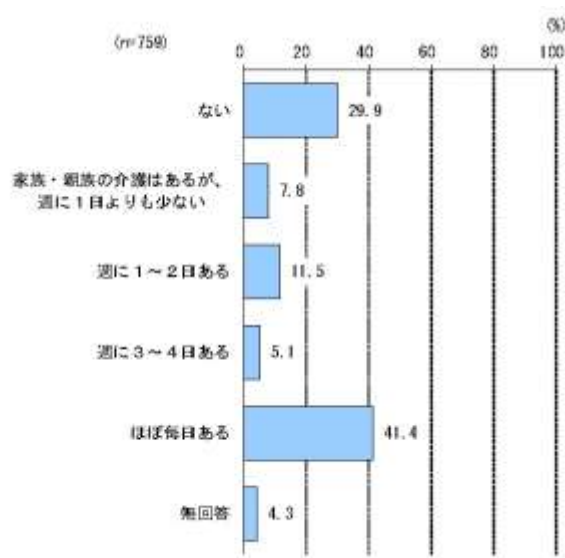
(1) 介護の頻度

- 問3 調査の対象者は、ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)

【全体】

- 介護の頻度について、「ほぼ毎日ある」が41.4%で最も多く、次いで「ない」が29.9%、「週に1～2日ある」が11.5%となっています。
- 「週3～4日ある」「ほぼ毎日ある」を合わせた“週3日以上ある”が46.5%となっています。

【介護の頻度】



(2) 主な介護者の属性

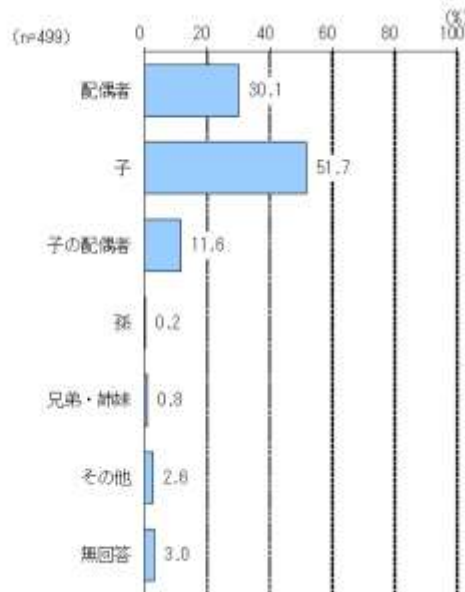
① 主な介護者

- 問4 (問3で「2」～「5」と回答した方のみ) 調査の対象者を、主に介護している方は、どなたですか。

【全体】

- 主な介護者について、「子」が 51.7%で最も多く、次いで「配偶者」が 30.1%、「子の配偶者」が 11.6%となっています。

【主な介護者】



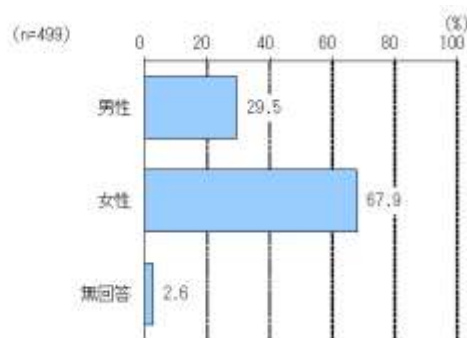
② 介護者の性別

- 問5 (問3で「2」～「5」と回答した方のみ) 調査の対象者を、主に介護している方の性別について、ご回答ください。

【全体】

- 主な介護者の性別について、「男性」が 29.5%、「女性」が 67.9%となっています。

【主な介護者の性別】



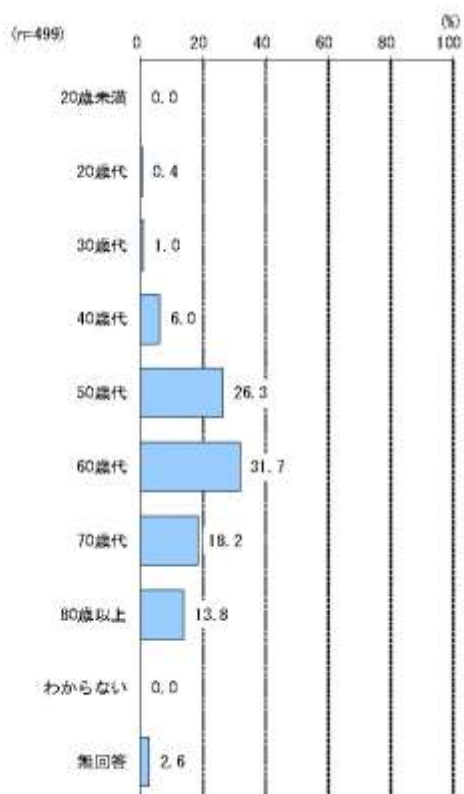
③ 介護者の年齢

- 問6 (問3で「2」～「5」と回答した方のみ) 調査の対象者を、主に介護している方の年齢について、ご回答ください。

【全体】

- 主な介護者の年齢について、「60歳代」が31.7%で最も多く、次いで「50歳代」が26.3%となっています。
- 「70歳代」「80歳以上」を合わせた“70歳以上”が32.0%となっています。

【主な介護者の年齢】



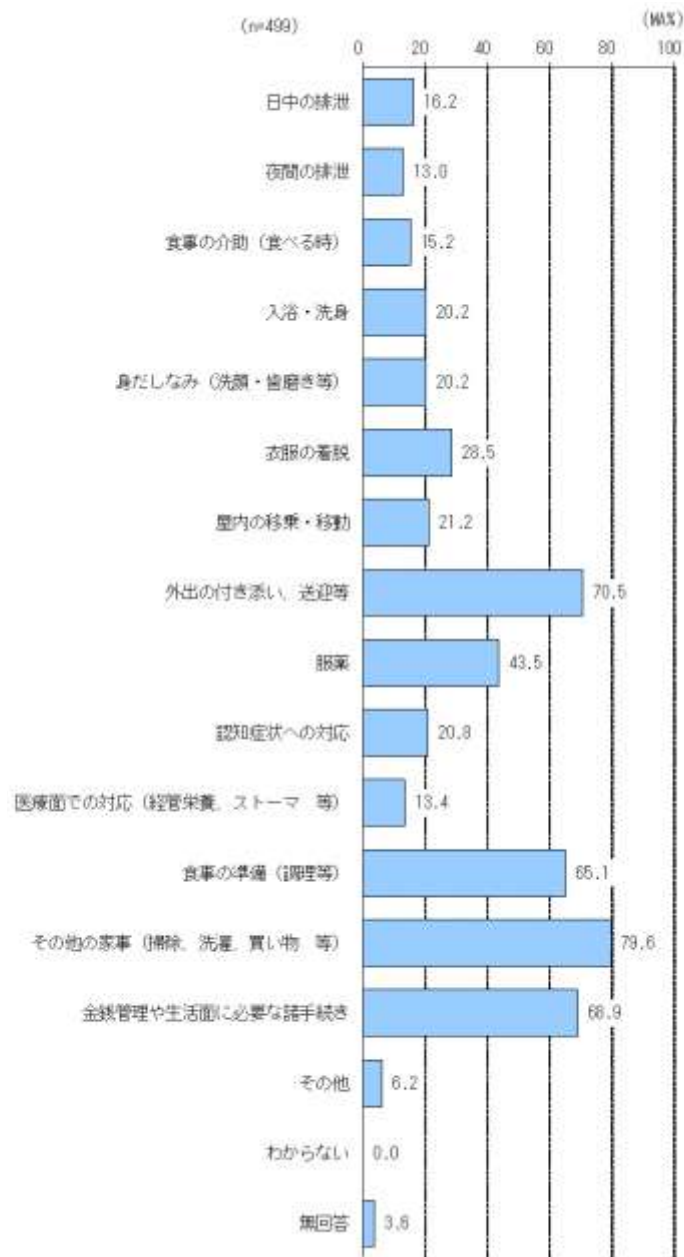
(3) 介護の内容

① 現在行っている介護

- 問7 (問3で「2」～「5」と回答した方のみ) 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(いくつでも)

【全体】
○ 主な介護者が行う介護について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が79.6%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が70.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が68.9%となっています。

【主な介護者が行う介護(MA)】



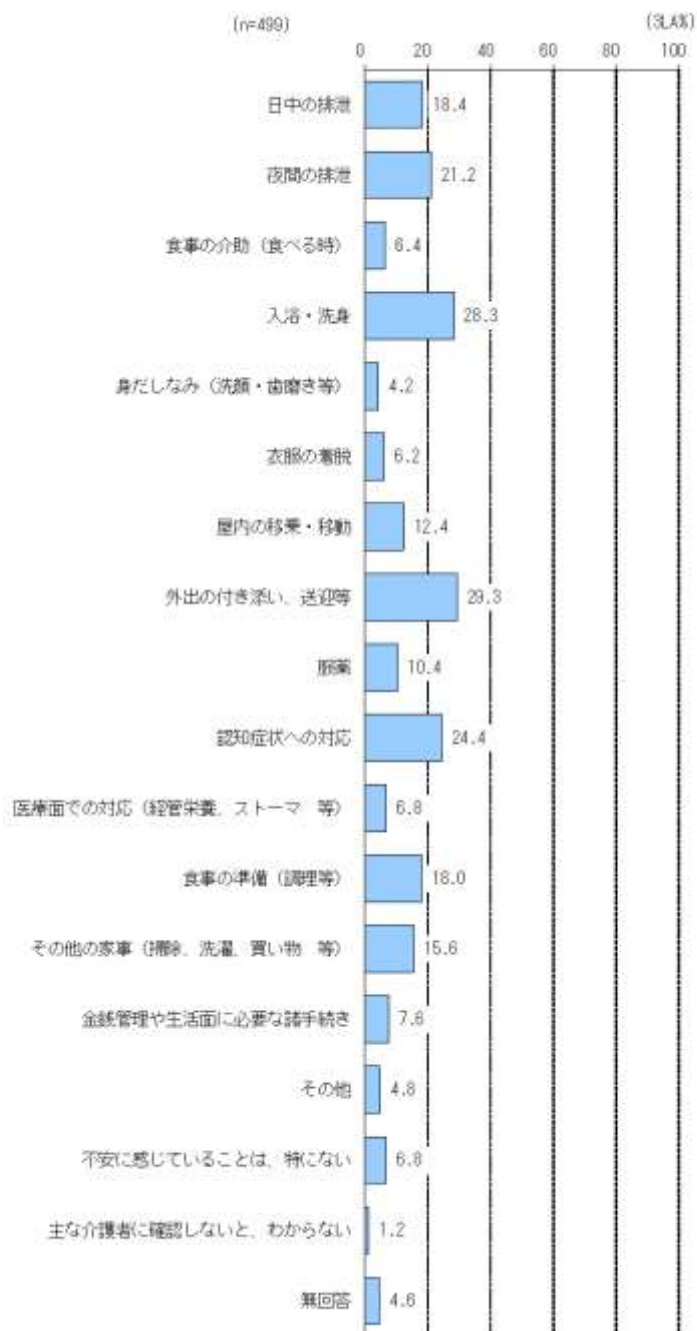
② 不安に感じる介護

- 問 23 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(3つまで)

【全体】

- 不安に感じる介護について、「外出の付き添い、送迎等」が29.3%で最も多く、次いで「入浴・洗身」が28.3%、「認知症状への対応」が24.4%となっています。

【不安に感じる介護(3LA)】



(4) 介護離職

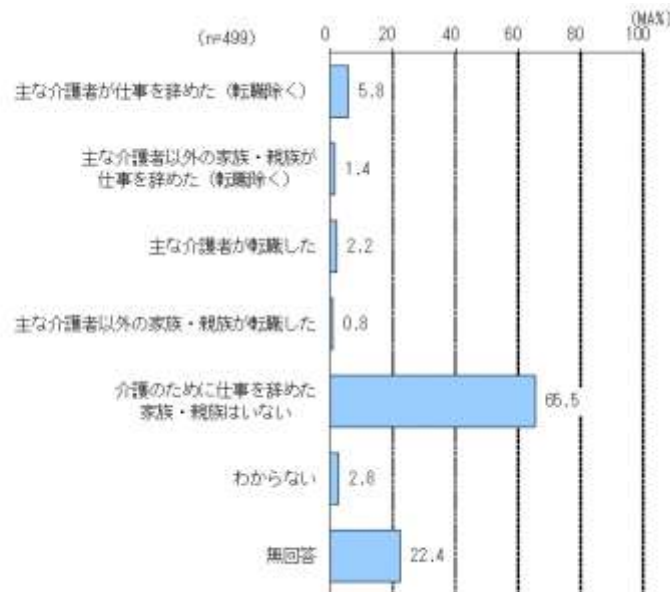
① 介護離職者の有無

- 問8 (問3で「2」～「5」と回答した方のみ) ご家族やご親族の中で、調査の対象者の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(いくつでも)

【全体】

- 介護離職について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が65.5%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が5.8%となっています。

【介護離職(MA)】



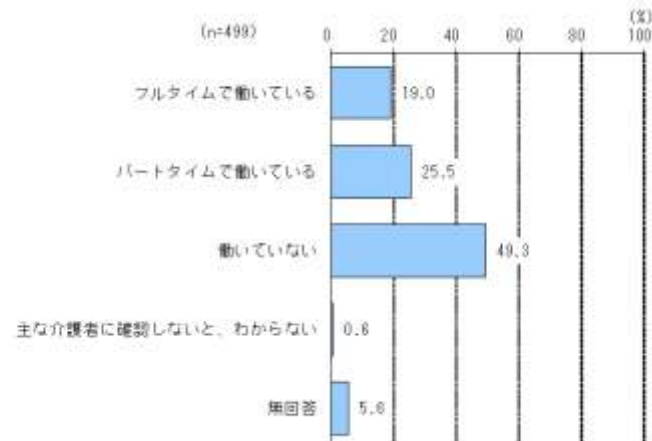
② 主な介護者の勤務形態

- 問19 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。

【全体】

- 主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が49.3%で最も多く、次いで「パートタイムで働いている」が25.5%となっています。
- 「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を合わせた“働いている”が44.5%となっています。

【主な介護者の勤務形態】



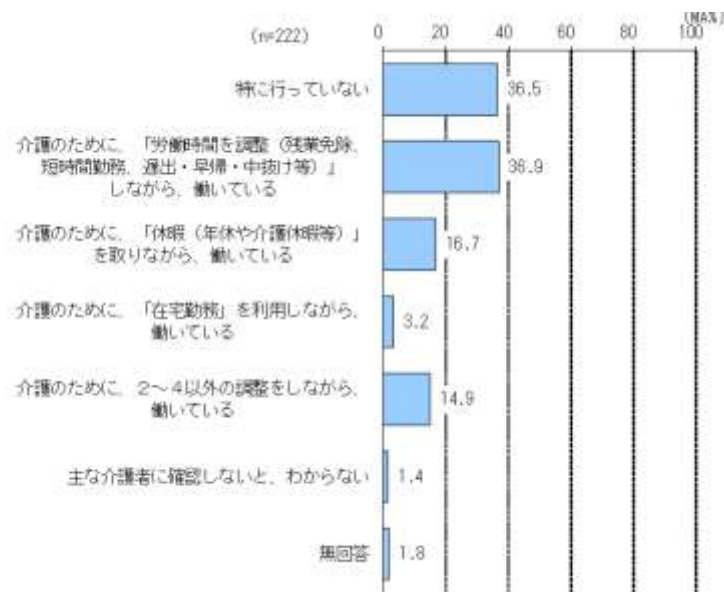
③ 働き方の調整

- 問 20 (問 19 で「1」「2」と回答した方のみ) 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも)

【全体】

- 働き方の調整について、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 36.9%で最も多く、次いで「特に行っていない」が 36.5%となっています。
- 全体から「特に行っていない」、「主な介護者に確認しないと、わからない」、無回答を除いた“何らかの調整を行っている”が 60.3%となっています。

【働き方の調整(MA)】



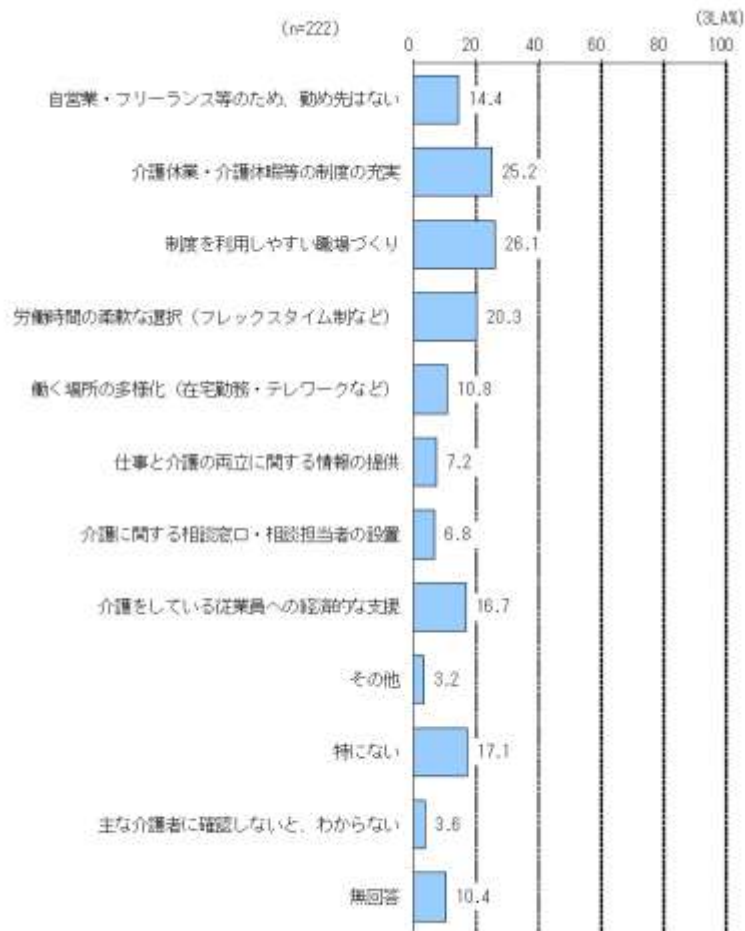
④ 勤め先からの必要な支援

- 問 21 (問 19 で「1」「2」と回答した方のみ) 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで)

【全体】

- 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援について、「制度を利用しやすい職場づくり」が 26.1%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 25.2%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 20.3%となっています。

【仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援(3LA)】



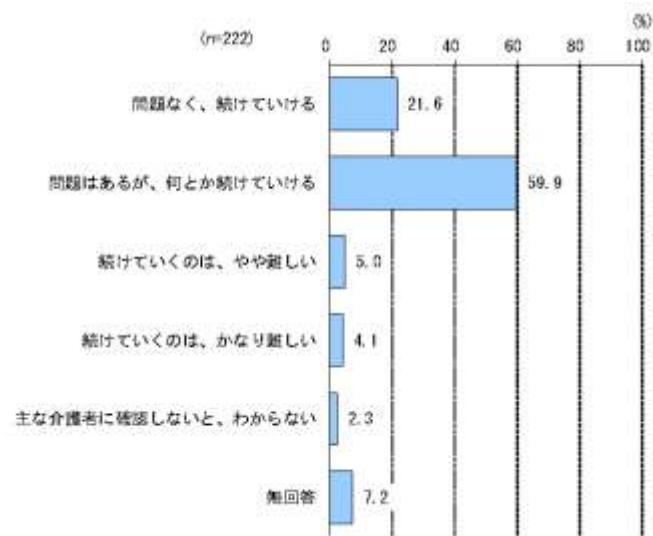
⑤ 今後の仕事と介護の両立

- 問 22 (問 19 で「1」「2」と回答した方のみ) 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

【全体】

- 今後の仕事と介護の両立について、「問題はあるが、何とか続けていける」が 59.9%で最も多く、次いで「問題なく、続けている」が 21.6%となっています。
- 「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた“続けていくのは、難しい”が 9.1%となっています。

【今後の仕事と介護の両立】



4. 支援・サービス

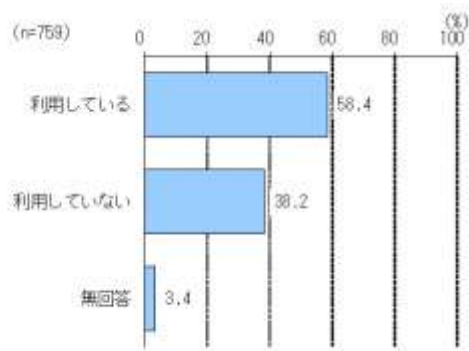
(1) 介護保険サービス（利用状況、満足度、利用していない理由）

- 問 14 調査の対象者は、現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。

【全体】

- （住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が58.4%、「利用していない」が38.2%となっています。

【（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスの利用状況】

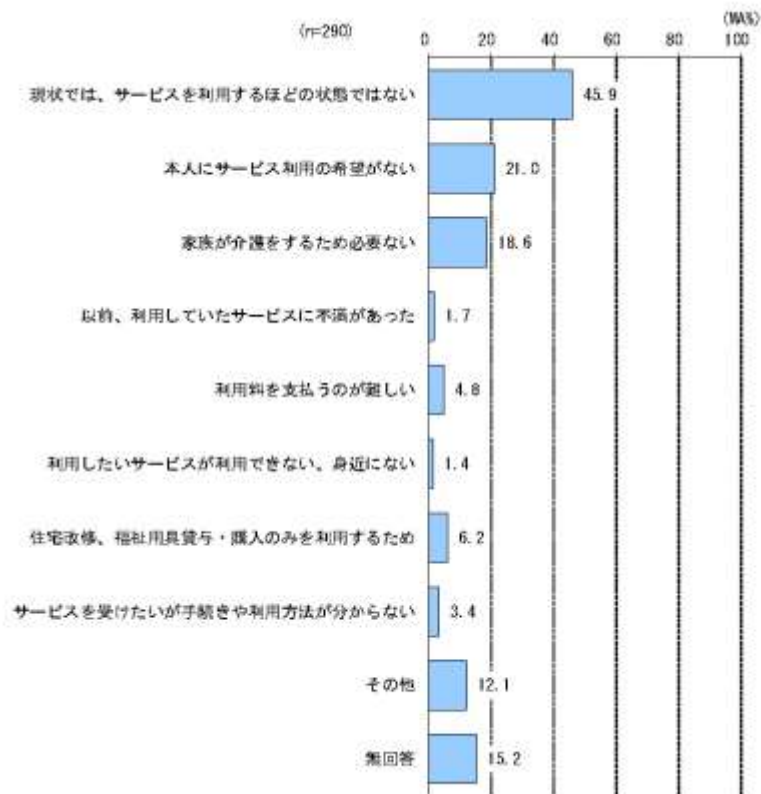


- 問 15 (問 14 で「2」と回答した方のみ) 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも)

【全体】

○ 介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 45.9%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 21.0%、「家族が介護をするため必要ない」が 18.6%となっています。

【介護保険サービスを利用していない理由(MA)】



(2) 介護保険サービス以外の支援・サービス

- 問9 現在、調査の対象者が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも)

【全体】

- 利用している介護保険サービス以外の支援・サービスについて、「利用していない」が48.5%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が14.1%となっています。
- 全体から「利用していない」、無回答を除いた“利用している”が41.4%となっています。

【利用している介護保険サービス以外の支援・サービス(MA)】



(3) 在宅生活に必要な支援・サービス

- 問 10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（いくつでも）

【全体】

- 在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、「外出同行（通院・買い物など）」が 30.7%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 28.6%、「特になし」が 23.2%となっています。
- 全体から「特になし」、無回答を除いた“何らかの支援・サービスが必要”が 63.1%となっています。

【在宅生活の継続に必要な支援・サービス (MA)】



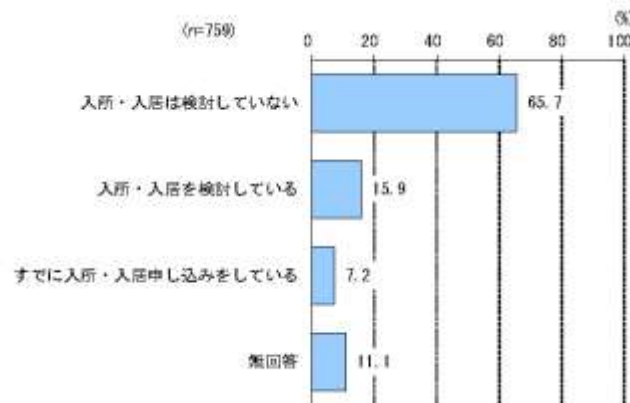
(4) 施設等への入所・入居の検討状況

●問 11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

【全体】

- 施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が65.7%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が15.9%となっています。
- 「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」を合わせた“入所・入居可能性あり”が23.1%となっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】



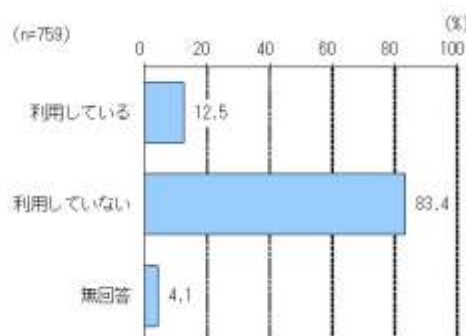
(5) 訪問診療の利用状況

●問 13 調査の対象者は、現在、訪問診療を利用していますか。

【全体】

- 訪問診療の利用有無について、「利用している」が12.5%、「利用していない」が83.4%となっています。

【訪問診療の利用有無】

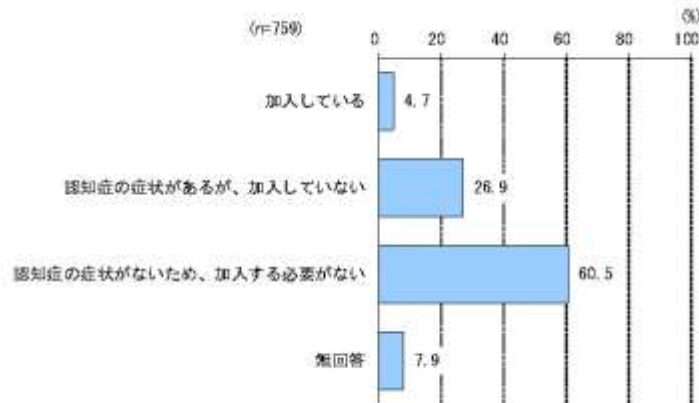


(6) 認知症高齢者について

- 問 16 認知症高齢者が事故で第三者に損害を負わせてしまうなどして損害賠償責任を負った場合に、これを補償する保険に加入していますか。

【全体】
○ 認知症高齢者の損害賠償責任を補償する保険に加入しているかについて、“認知症の症状がある”人のうち、「加入していない」が26.9%、「加入している」が4.7%となっています。

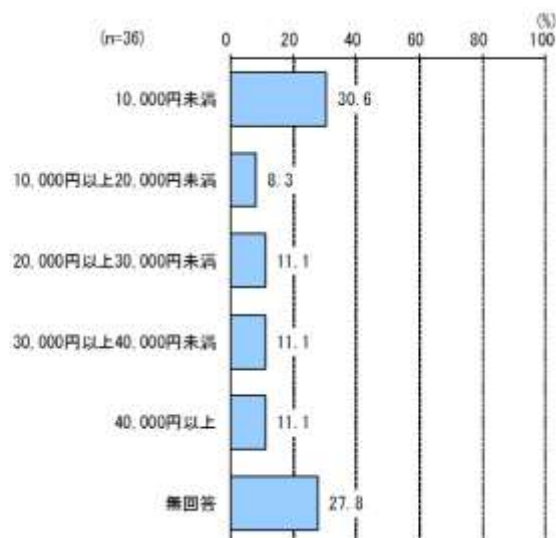
【認知症高齢者の損害賠償責任を補償する保険に加入しているか】



- 問 17 (問 16 で「1」と回答した方のみ) 1年間の保険料負担額はおよそいくらですか。

【全体】
○ 認知症高齢者の損害賠償責任を補償する保険の保険料について、「10,000円未満」が30.6%となっています。

【認知症高齢者の損害賠償責任を補償する保険の保険料】

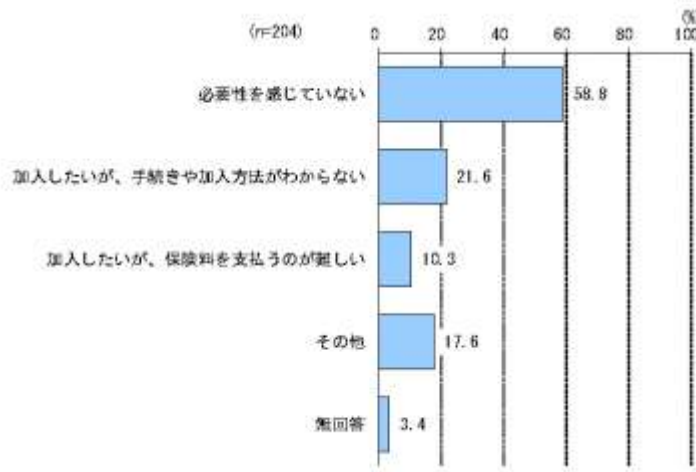


- 問 18 (問 16 で「2」と回答した方のみ) 保険に加入しない理由は何ですか。(いくつでも)

【全体】

- 認知症高齢者の損害賠償責任を補償する保険に加入しない理由について、「必要性を感じていない」が 58.8%で最も多く、次いで「加入したいが、手続きや加入方法がわからない」が 21.6%となっています。

【認知症高齢者の損害賠償責任を補償する保険に加入しない理由】



5. 自由意見

●介護保険制度や保健福祉施策について、またはご自身のことでも自由にご記入ください。

主な意見	
悩みや不安、心配事について	<ul style="list-style-type: none"> ・介護で心身ともにストレス、疲労が溜まっている ・介護者が病気等になった時が不安 ・今はよいが、将来に不安がある ・施設入所における経済的な負担が心配 ・税金、保険料が高い ・年金生活が苦しい
介護保険サービスについて	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用で助かっている ・利用可能日時を拡大してほしい ・サービス提供に不満がある ・人手不足が心配 ・サービス利用料が高い
介護保険制度、高齢福祉施策について	<ul style="list-style-type: none"> ・制度についてわかりやすい説明会を開催してほしい ・手続きを簡易にしてほしい ・市独自の施策がほしい（医療、通院に係る負担軽減、介護者が体調不良の際、数時間だけでも介護してくれるサービス等）
認定基準について	<ul style="list-style-type: none"> ・認定にばらつきがある ・認定が厳しくなっている ・認定結果に不満がある
損害賠償責任保険について	<ul style="list-style-type: none"> ・知らない、資料がほしい ・適用されるケースが分からない
コロナウイルス感染症について	<ul style="list-style-type: none"> ・感染したらどうしたらよいか ・外出自粛により低下した体力・気力を取り戻すのに時間がかかりそう ・外出自粛の際、デイサービスの代わりとなる在宅サービス等があれば助かる

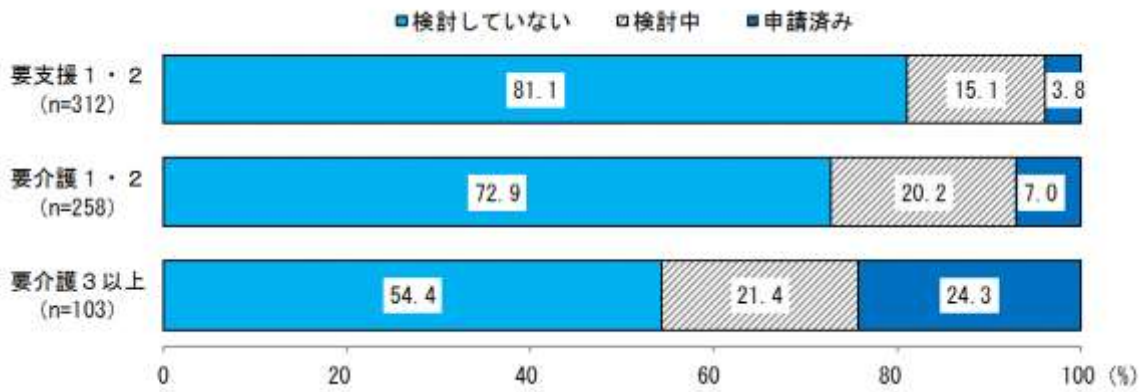
6. 認定データを使用した集計

(1) 在宅限界点向上のための支援・サービスの提供体制の検討

① 施設等への入所・入居の検討状況

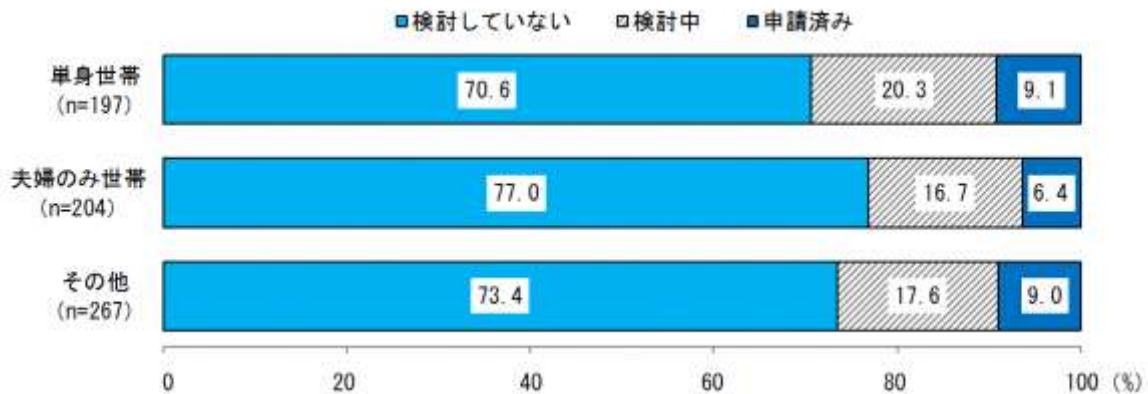
●要介護度

【要介護3以上】
○ 「検討していない」が54.4%となっています。



●世帯類型

【単身世帯】
○ 「検討していない」が70.6%となっています。



② 介護者が不安に感じる介護

●要介護度

【要支援1・2】

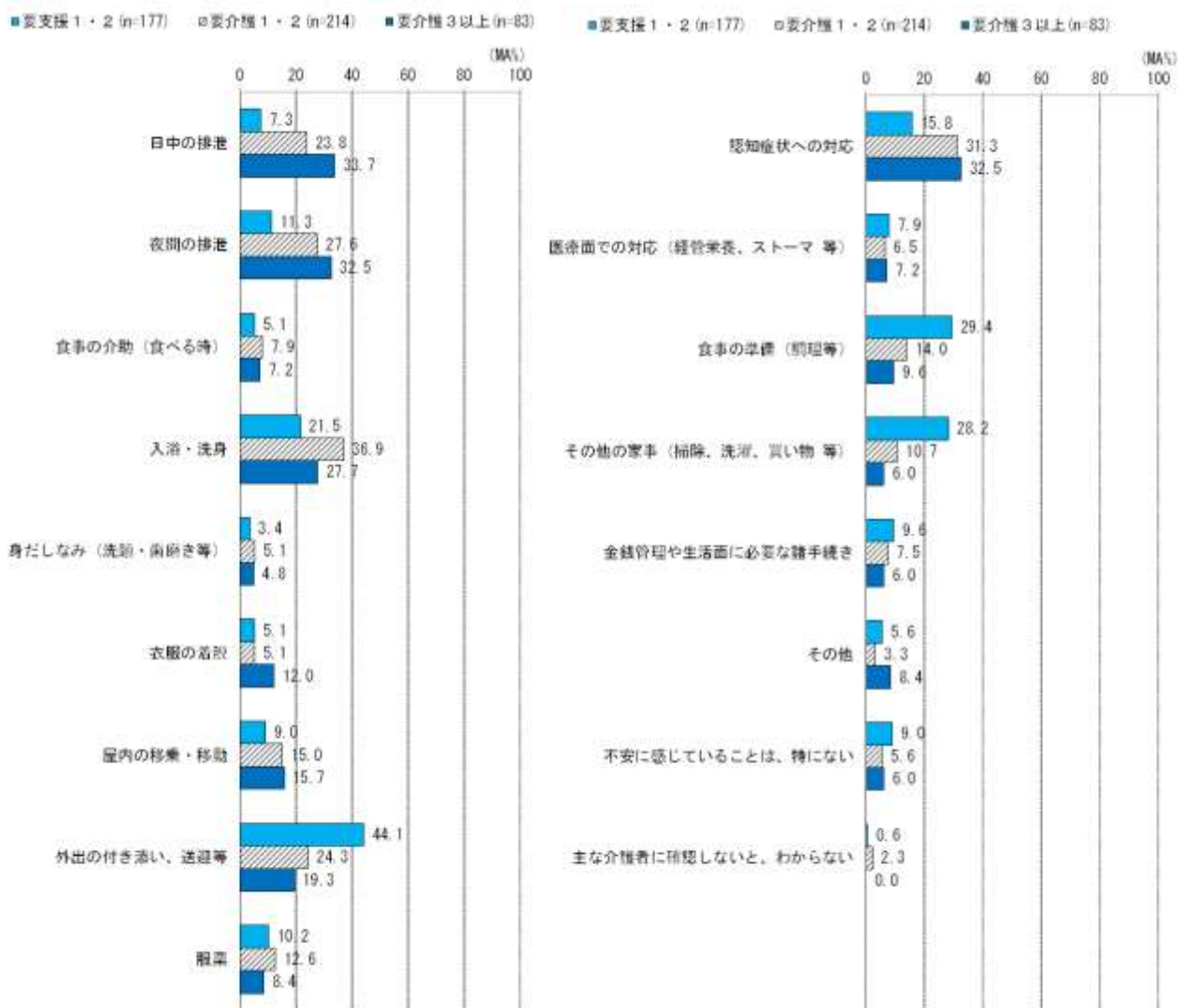
- 「外出の付き添い、送迎等」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が多くなっています。

【要介護1・2】

- 「入浴・洗身」、「認知症状への対応」、「夜間の排泄」が多くなっています。

【要介護3以上】

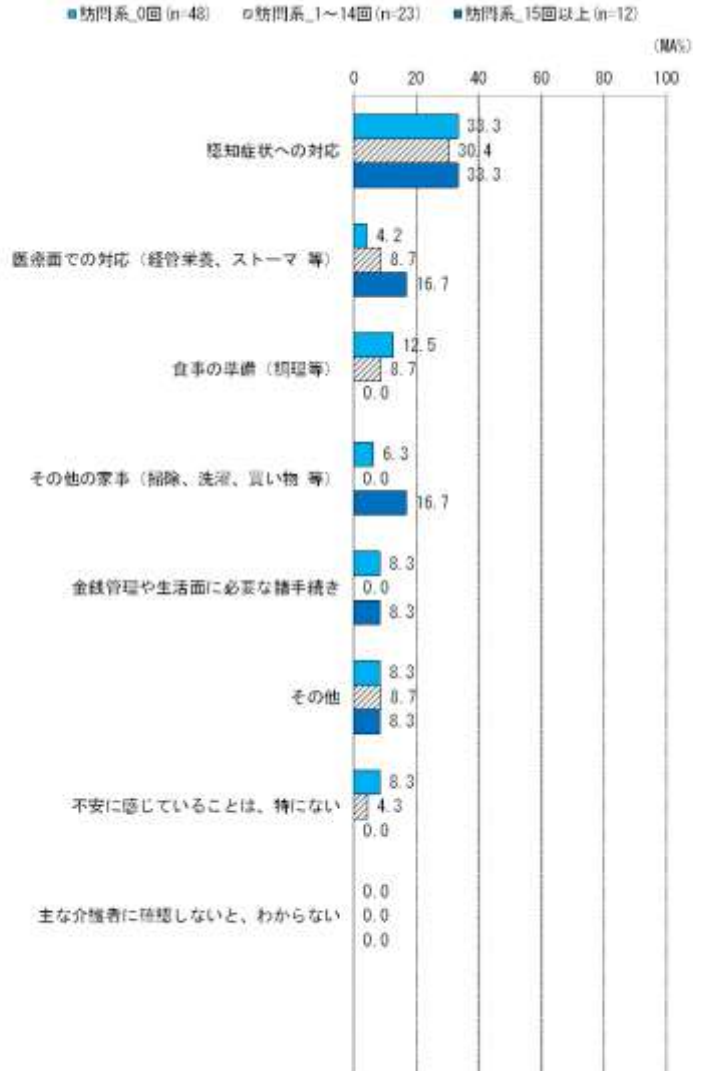
- 「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が多くなっています。



●訪問系サービスの利用状況（要介護3以上）

【全体】

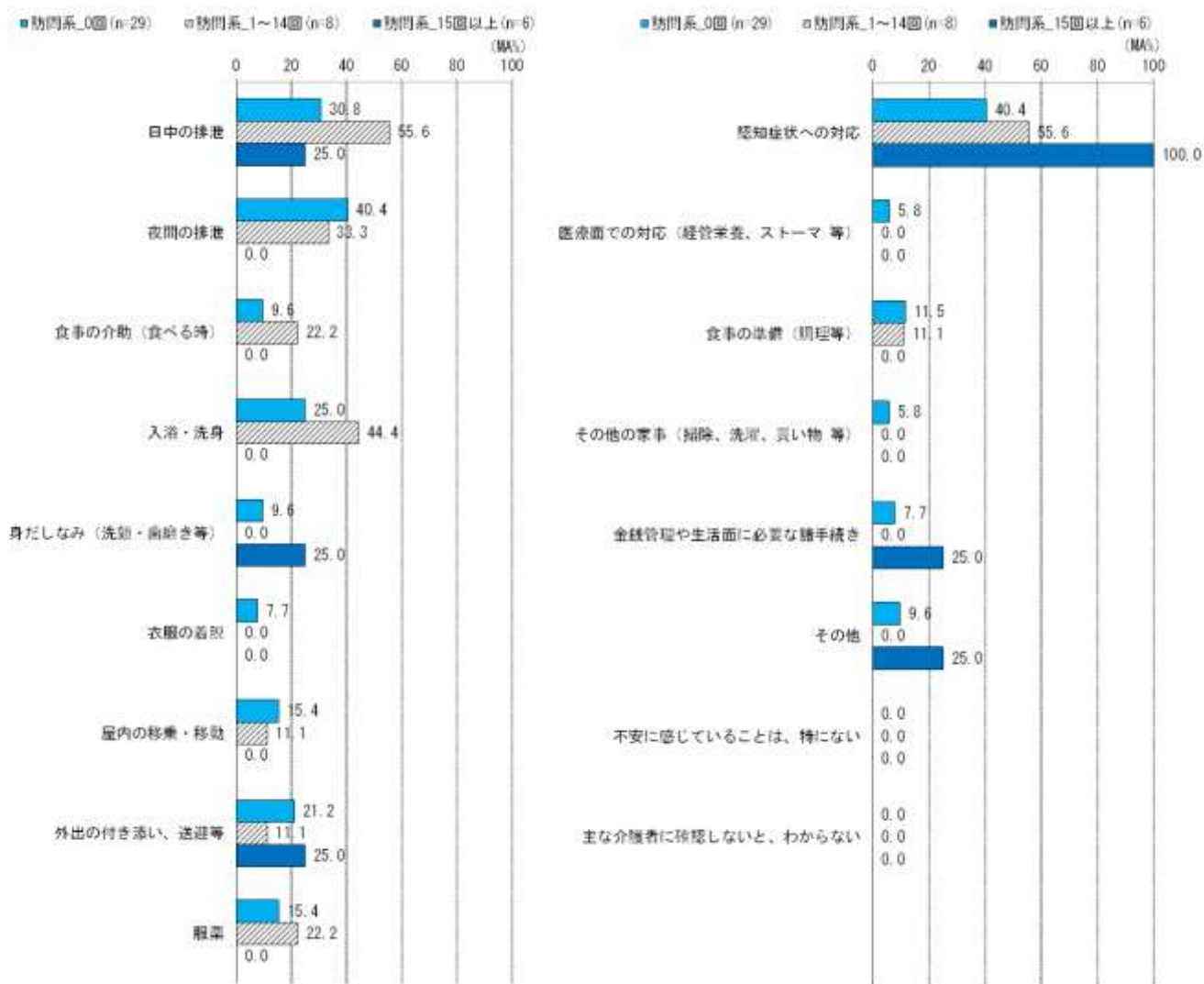
○ 訪問系サービスの利用回数が多くなるにつれて、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」を不安に感じる介護者が少なくなる傾向がみられます。



●訪問系サービスの利用状況（認知症自立度Ⅲ以上）

【全体】

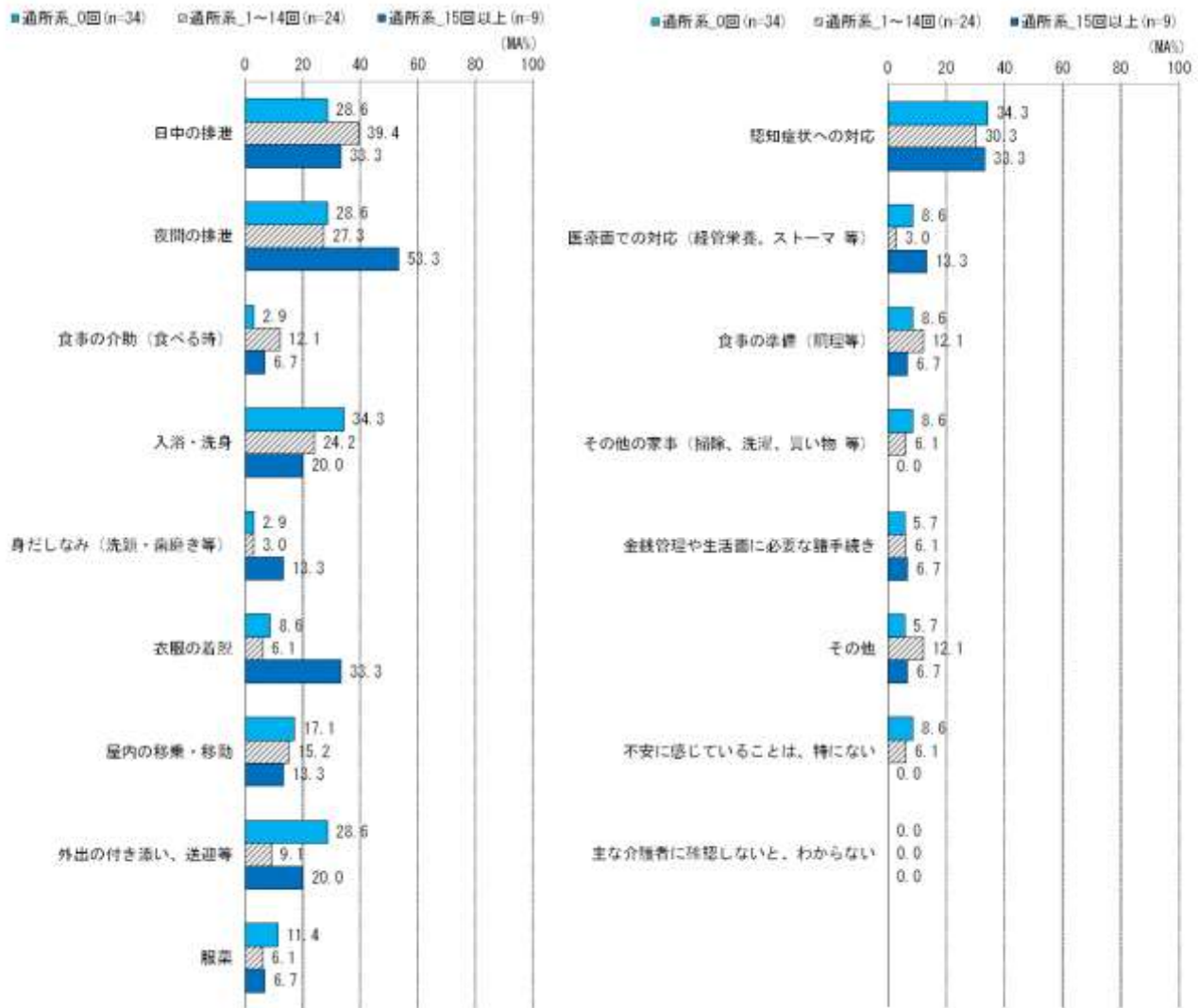
- 訪問系サービスの利用回数が多くなるにつれて、または、訪問系サービスを利用している人では、「夜間の排泄」、「衣類の着脱」、「屋内の移乗・移動」、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」、「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」を不安に感じる介護者が少なくなる傾向がみられます。



●通所系サービスの利用状況（要介護3以上）

【全体】

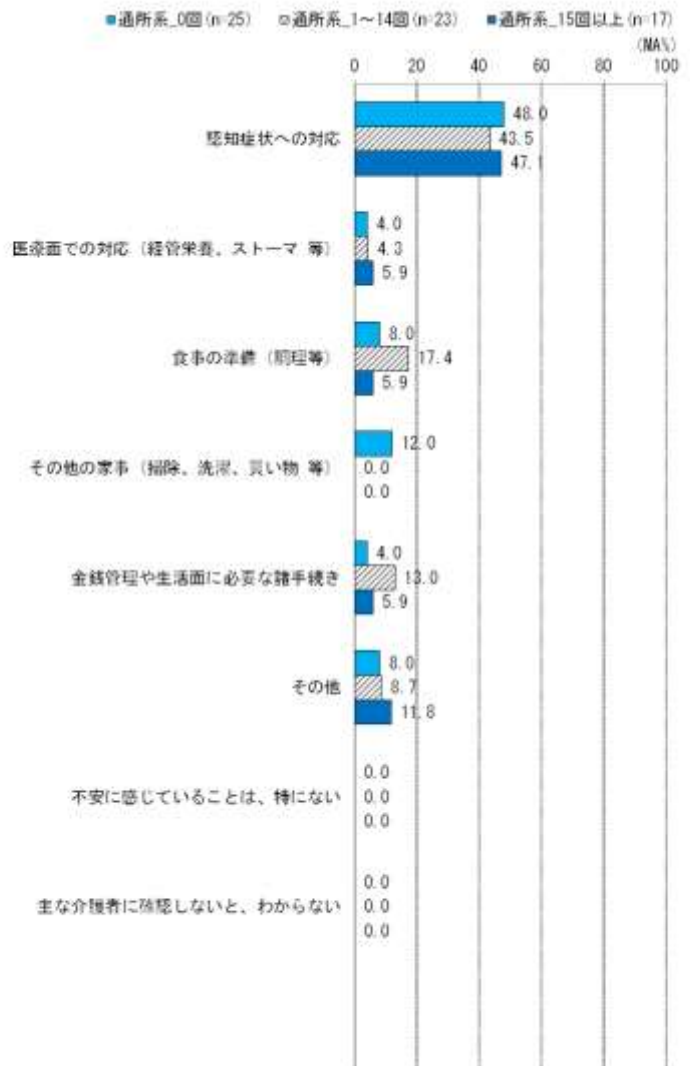
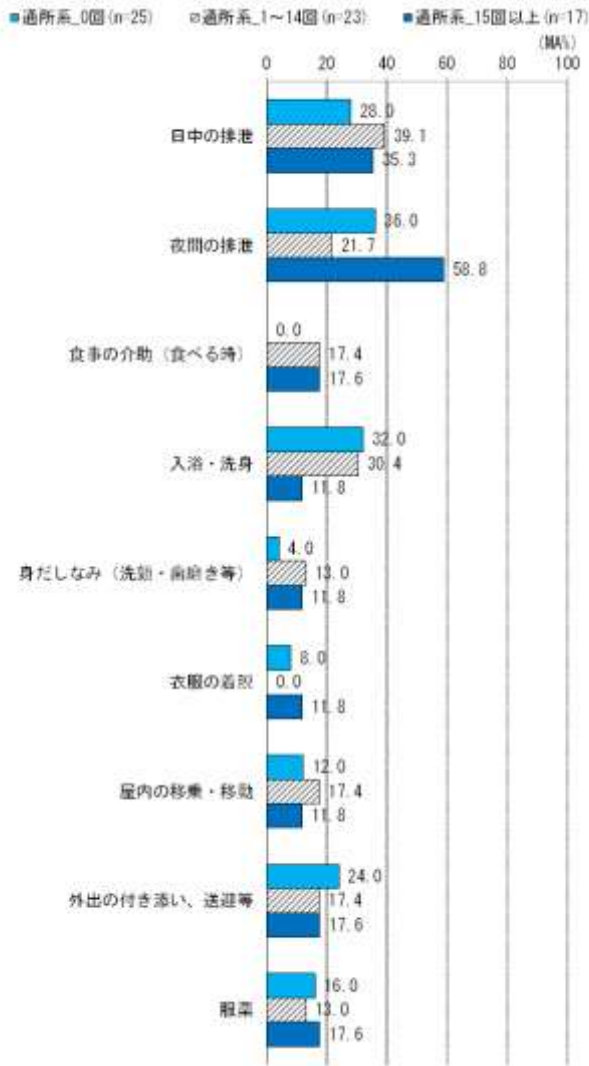
- 通所系サービスの利用回数が多くなるにつれて、または、通所系サービスを利用している人では、「入浴・洗身」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」を不安に感じる介護者が少なくなる傾向がみられます。



●通所系サービスの利用状況（認知症自立度Ⅲ以上）

【全体】

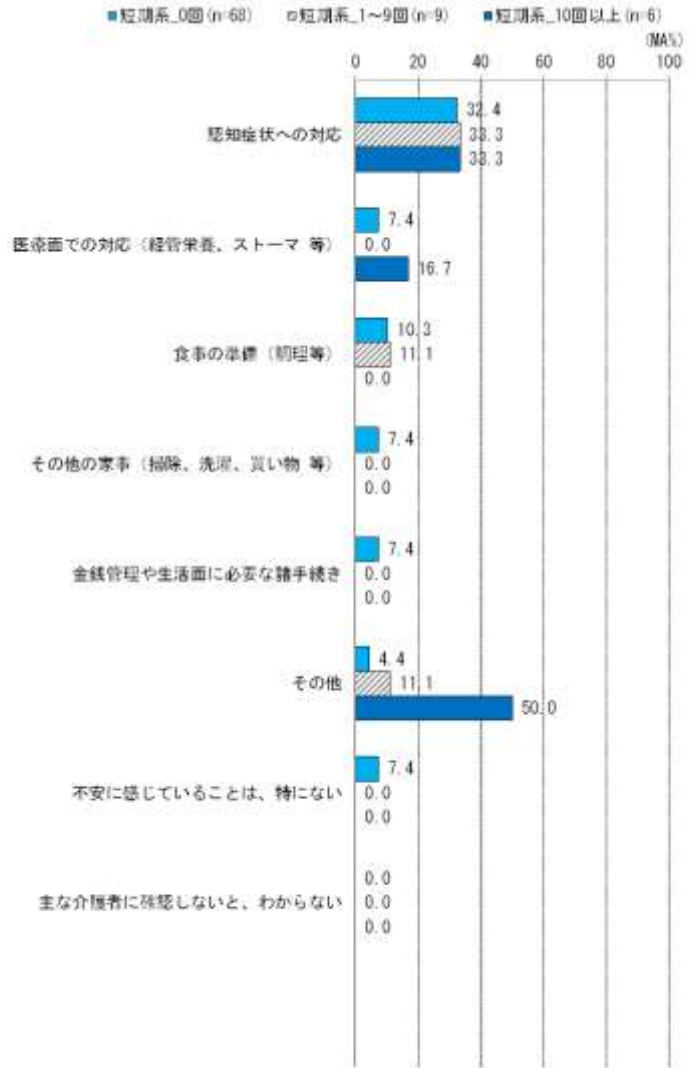
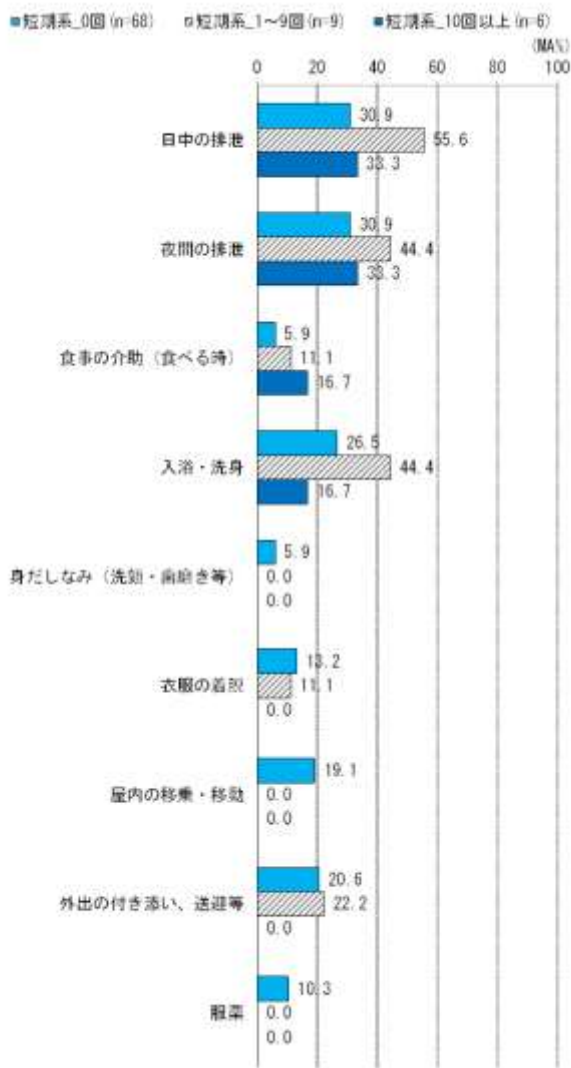
- 通所系サービスの利用回数が多くなるにつれて、または、通所系サービスを利用している人では、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」を不安に感じる介護者が少なくなる傾向がみられます。



●短期系サービスの利用状況（要介護3以上）

【全体】

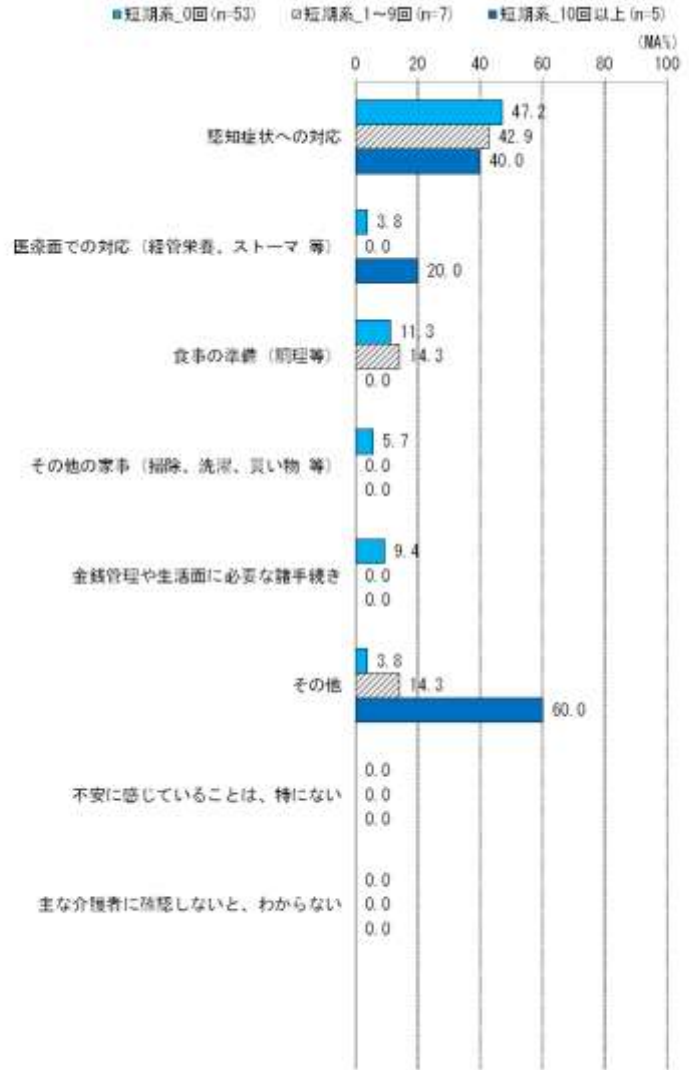
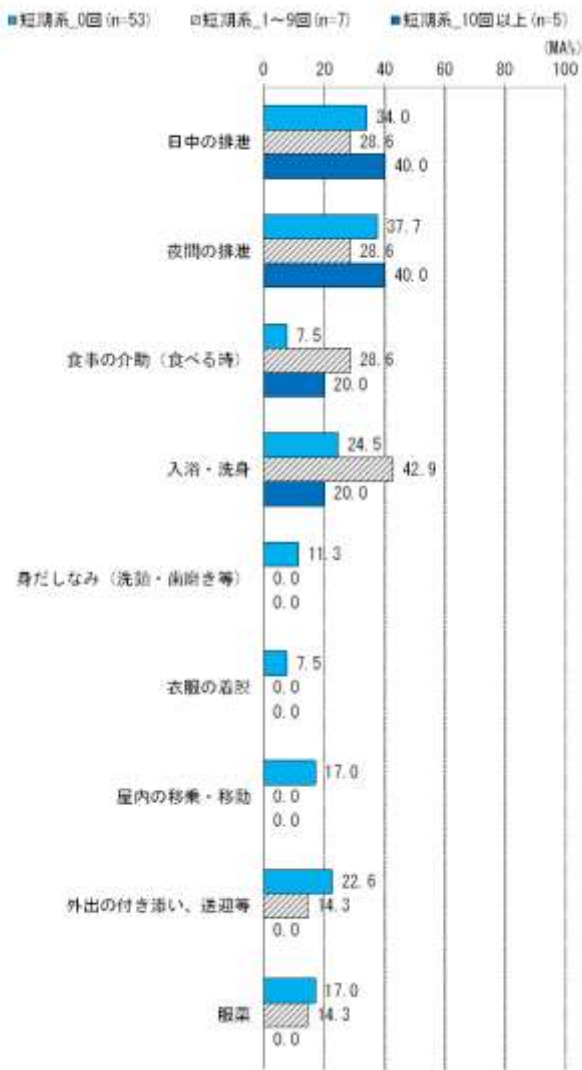
○ 短期系サービスの利用回数が多くなるにつれて、または、短期系サービスを利用している人では、「衣服の着脱」を不安に感じる介護者が少なくなる傾向がみられます。



●短期系サービスの利用状況（認知症自立度Ⅲ以上）

【全体】

- 短期系サービスの利用回数が多くなるにつれて、「認知症状への対応」を不安に感じる介護者が少なくなる傾向がみられます。

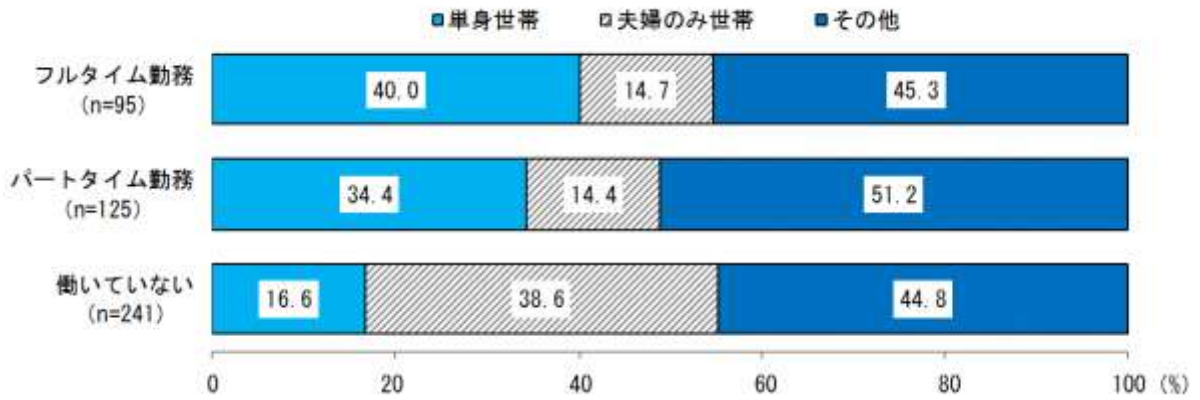


(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

① 介護者の就労状況

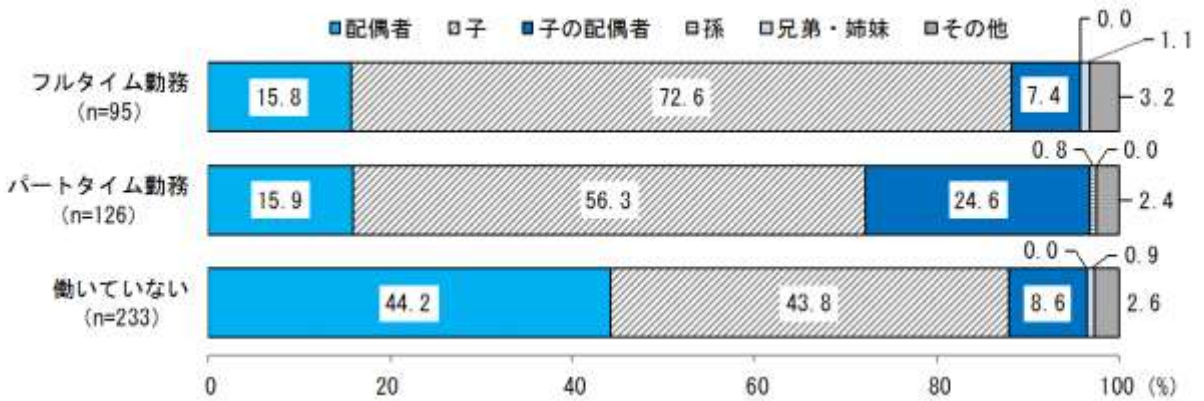
●世帯類型

【フルタイム勤務】
 ○ 「単身世帯」が40.0%となっています。



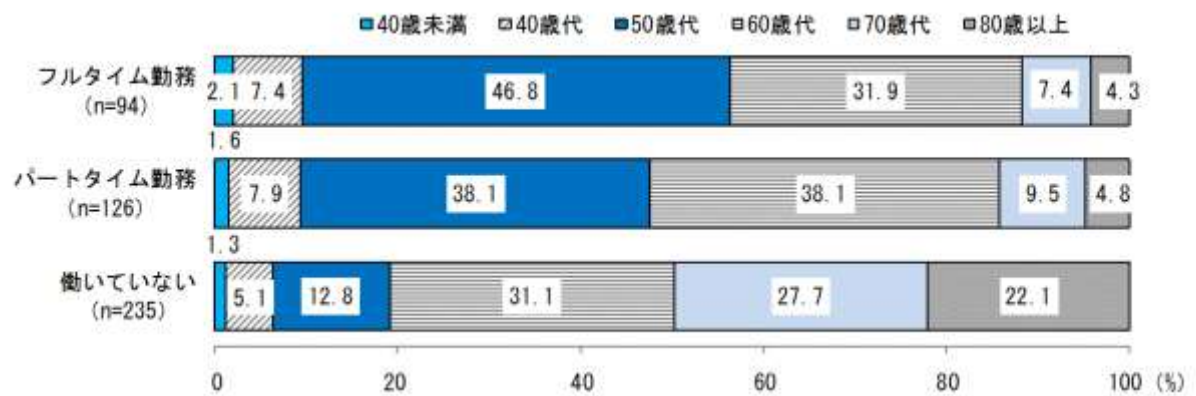
●主な介護者

【フルタイム勤務・パートタイム勤務】
 ○ 「子」が約5～7割と多くなっています。
【働いていない】
 ○ 「配偶者」が4割以上と多くなっています。



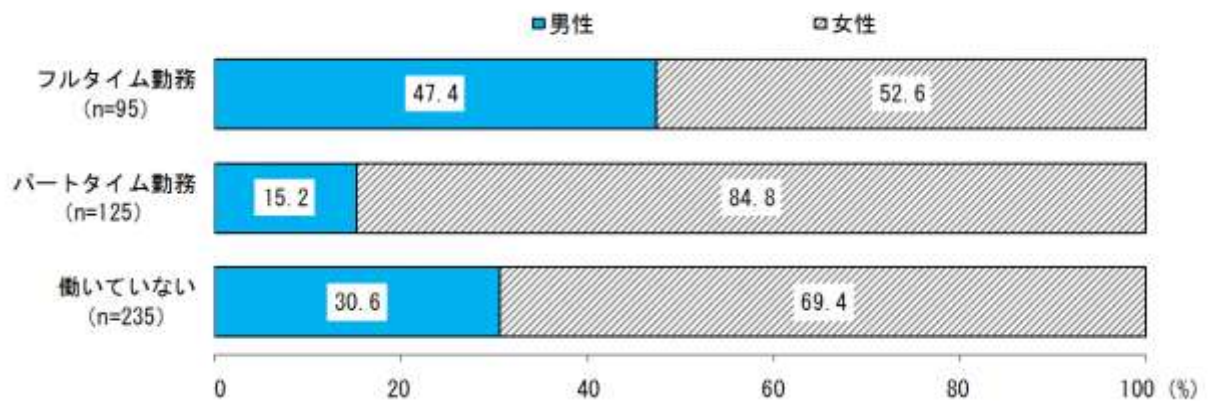
●主な介護者の年齢

【全体】
 ○ 就労時間が短くなるにつれて、主な介護者の年齢が高くなる傾向がみられます。



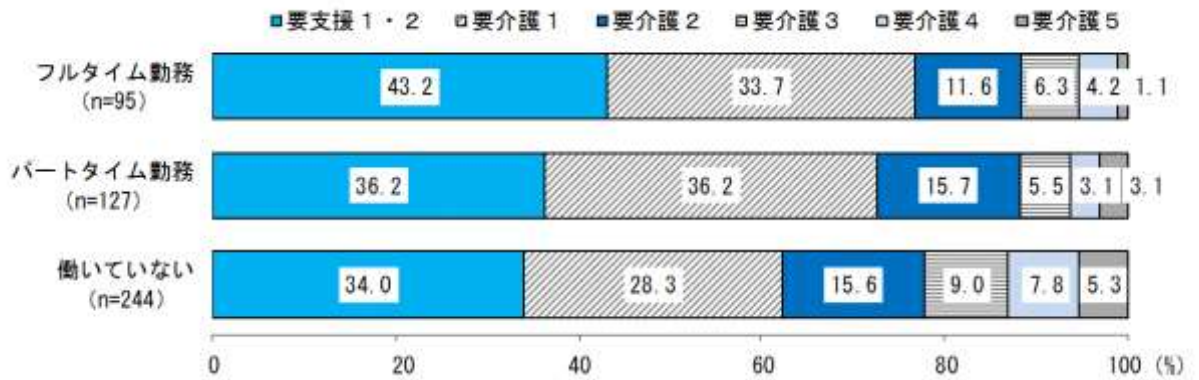
●主な介護者の性別

【全体】
 ○ いずれの就労状況でも、「女性」が多くなっています。
【フルタイム勤務】
 ○ 「男性」が47.4%、「女性」が52.6%となっており、他の勤務形態と比べて「男性」が多くなっています。
【パートタイム勤務】
 ○ 「女性」が84.8%と多くなっています。



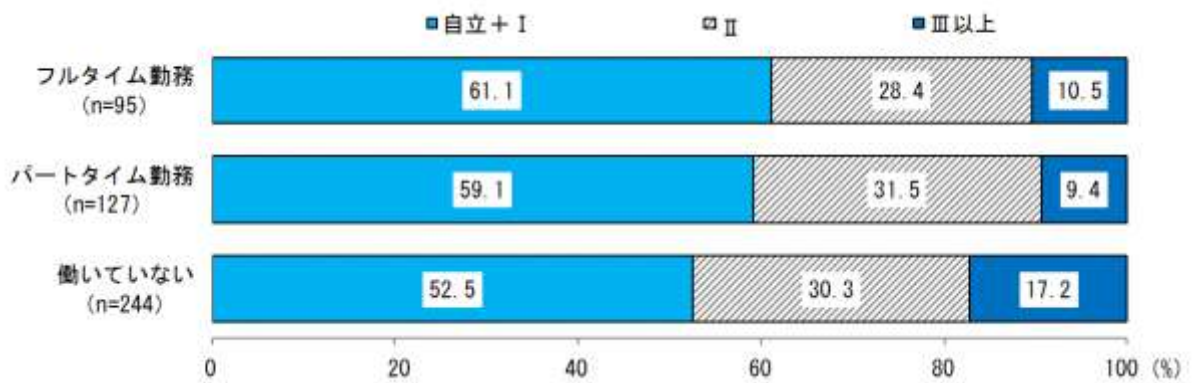
●本人の要介護度

【全体】
 ○ 就労時間が長くなるにつれて、重度な要介護者が少なくなる傾向がみられます。
【フルタイム勤務】
 ○ “要介護3以上”が11.6%となっています。



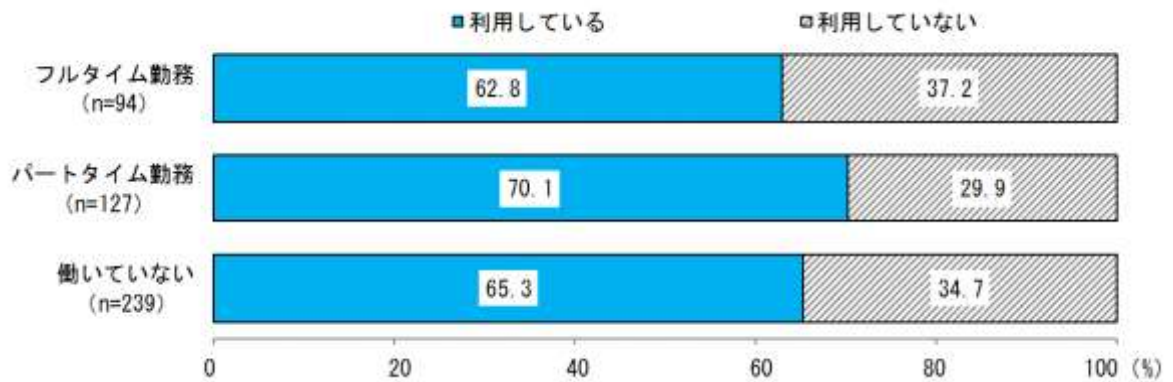
●本人の認知症自立度

【全体】
 ○ 就労時間が長くなるにつれて、重度な要介護者が少なくなる傾向がみられます。



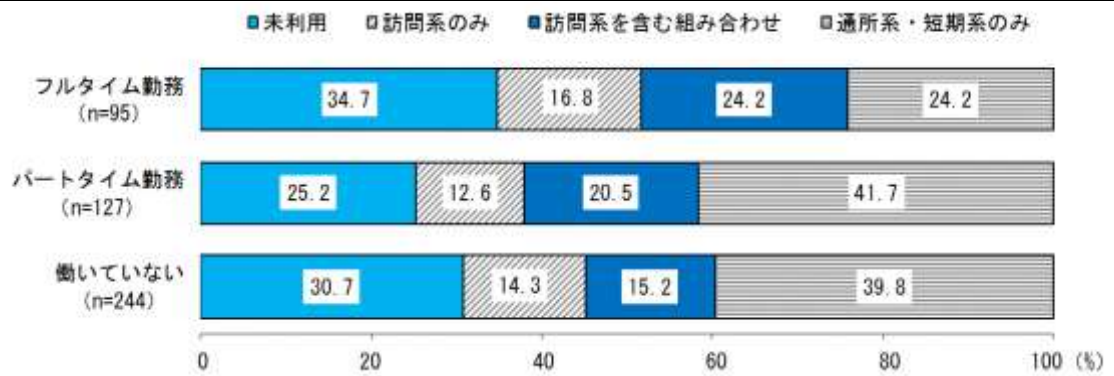
●介護保険サービスの利用有無

【パートタイム勤務】
 ○ 「利用していない」が他の勤務形態に比べて少なくなっています。



●サービス利用の組み合わせ

【フルタイム勤務】
 ○ 「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が多くなっています。



② 介護者の就労継続見込み

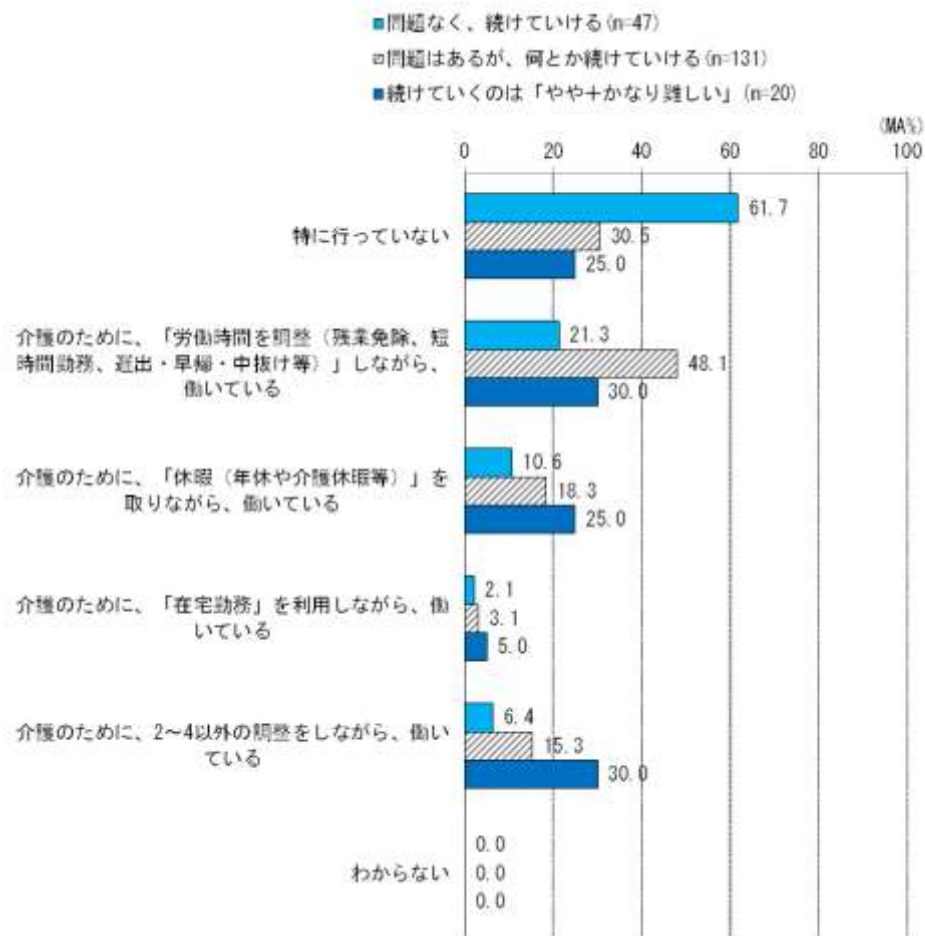
●介護のための働き方の調整

【全体】

○ 就労継続が困難になるにつれて、「特に行っていない」が少なくなる傾向がみられます。

【続けていくのは、「やや+かなり難しい」】

○ 「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が多くなっています。



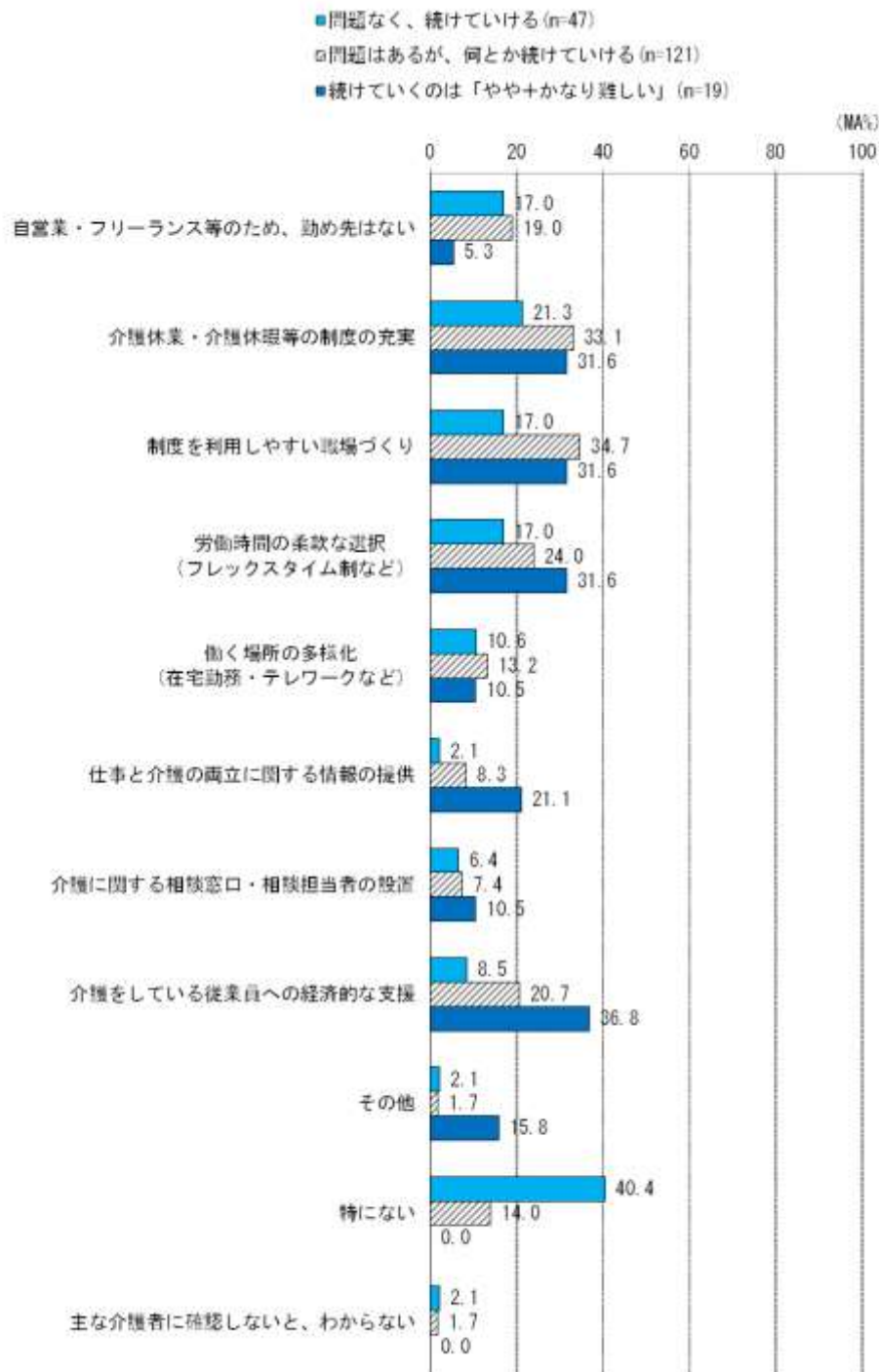
●勤め先から必要な支援

【全体】

○ 就労継続が困難になるにつれて、「特にない」が少なくなる傾向がみられます。

【続けていくのは、「やや+かなり難しい」】

○ 「介護をしている従業員への経済的な支援」が最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」、「制度を利用しやすい職場づくり」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」も多くなっています。

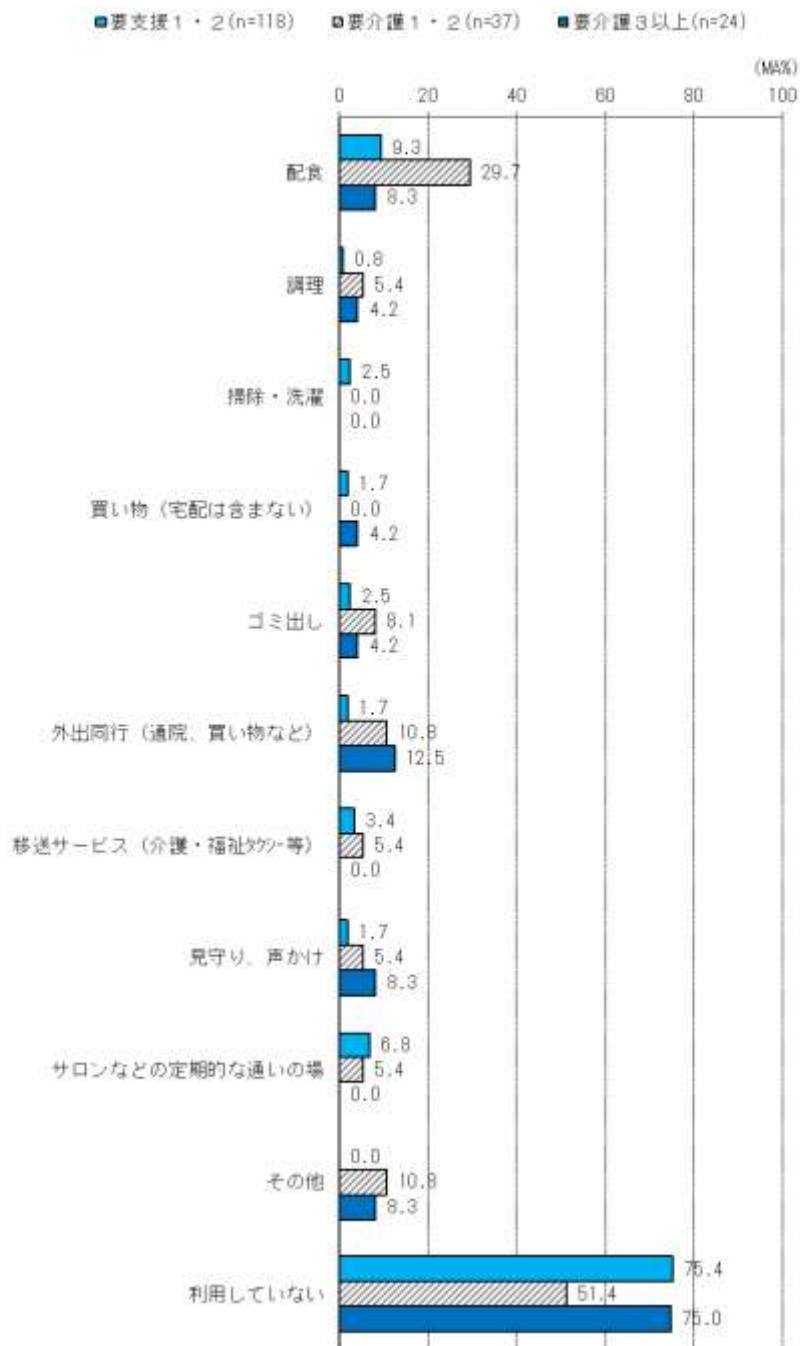


(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

① 保険外の支援・サービスの利用状況

● 単身世帯

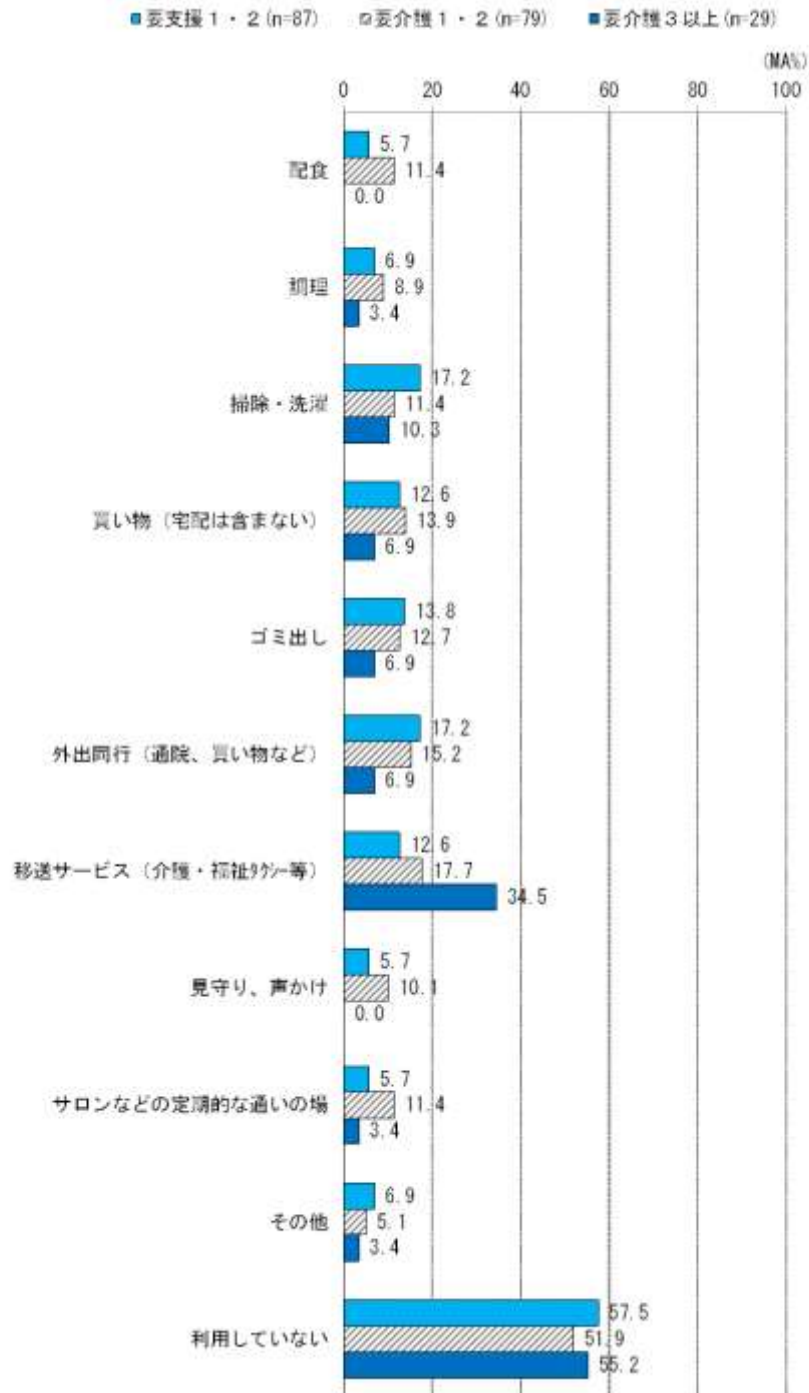
【全体】
 ○ 要介護度が高くなるにつれて、「外出同行（通院、買い物など）」、「見守り、声かけ」が多くなる傾向がみられます。



●夫婦のみ世帯

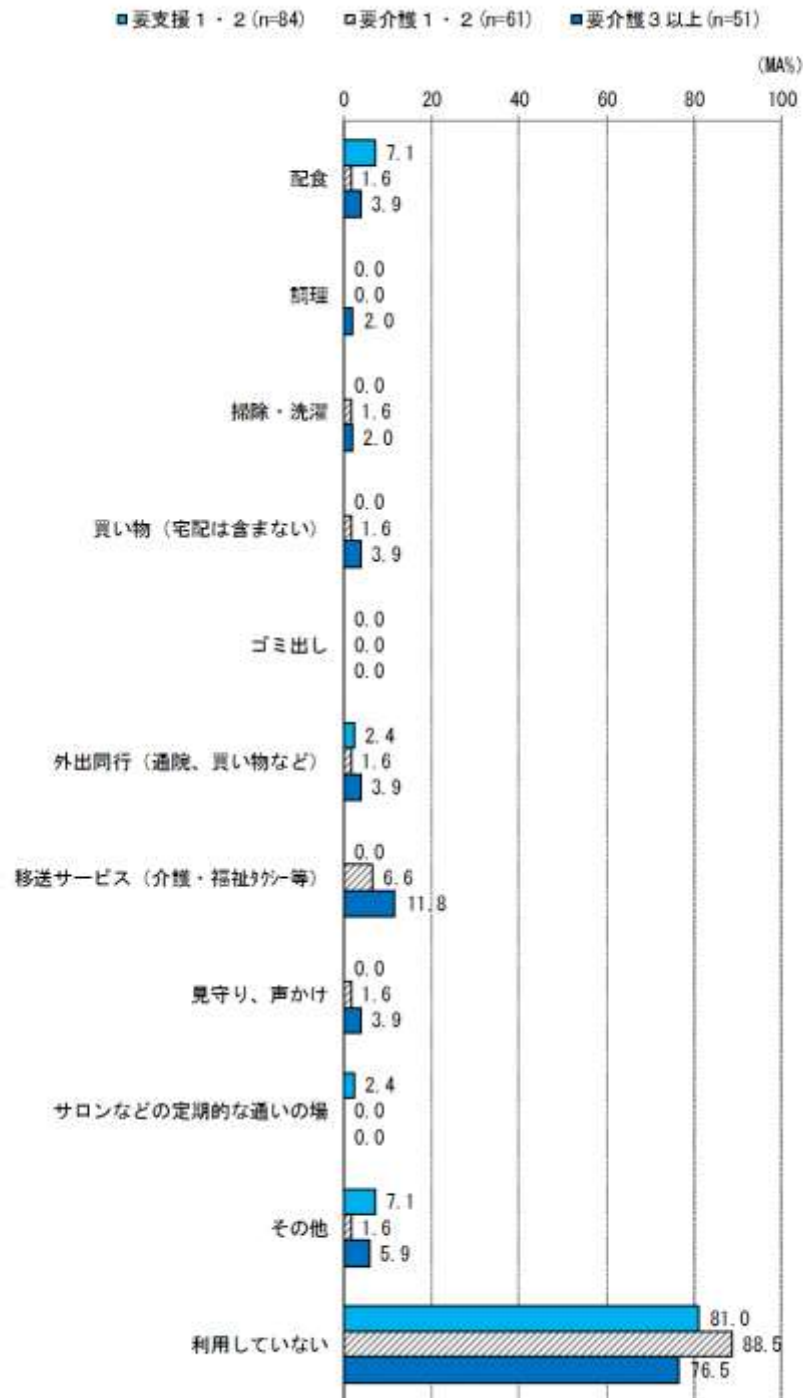
【全体】

○ 要介護度が高くなるにつれて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の利用が多くなる傾向がみられます。



●その他世帯

【全体】
 ○ 要介護度が高くなるにつれて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」「見守り・声かけ」「買い物（宅配は含まない）」の利用が多くなる傾向がみられます。



② 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

● 単身世帯

【全体】

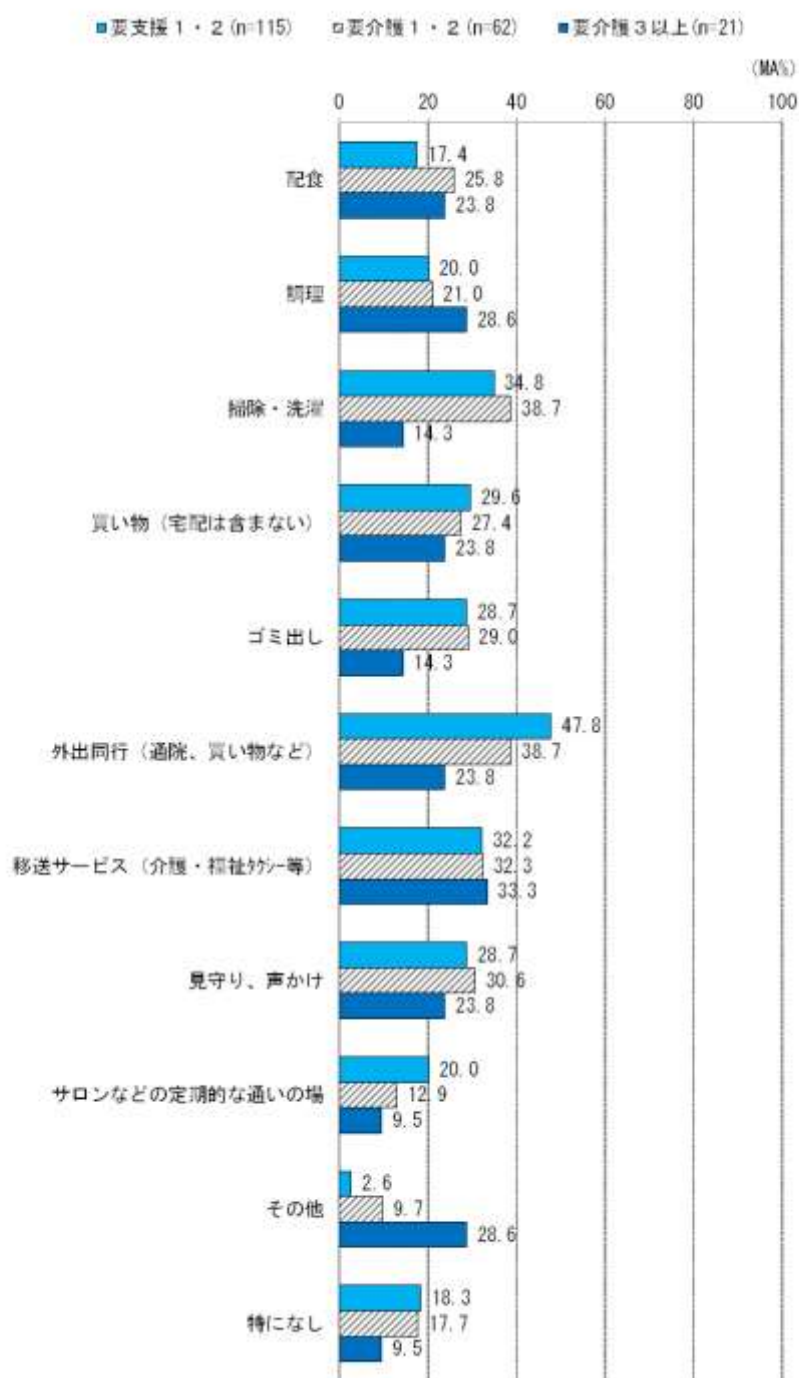
- いずれのサービスも、現在の利用状況に比べ多くなっています。
- いずれの要介護度でも、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が多くなっています。

【要支援1・2、要介護1・2】

- 上記のほか、「外出同行（通院、買い物など）」、「掃除・洗濯」が多くなっています。

【要介護3以上】

- 上記のほか、「配食」、「調理」が多くなっています。



●夫婦のみ世帯

【全体】

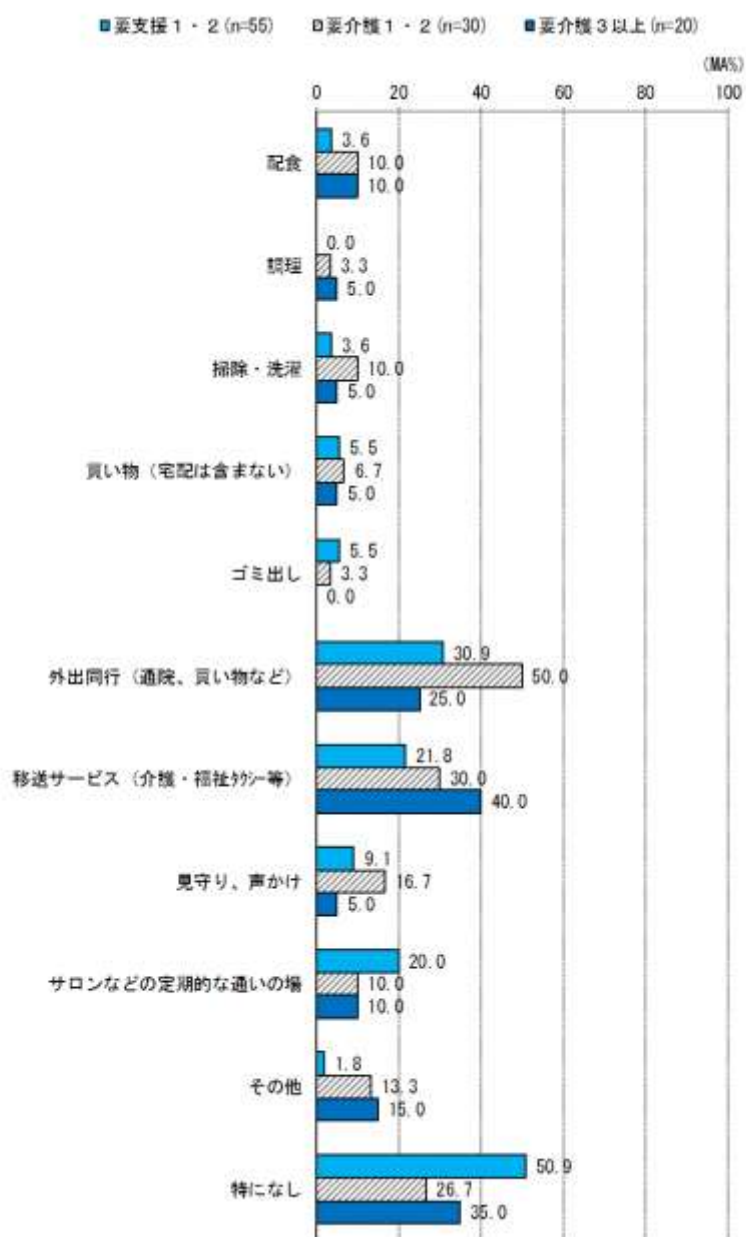
- いずれのサービスも、現在の利用状況に比べ多くなっています。
- 単身世帯と比較すると、「特になし」が多くなっています。
- いずれの要介護度でも、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が多くなっています。また、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は要介護度が高くなるにつれて必要とする人が多くなる傾向がみられます。

【要支援1・2】

- 上記のほか、「サロンなどの定期的な通いの場」が多くなっています。

【要介護1・2】

- 上記のほか、「見守り、声かけ」が多くなっています。



●その他世帯

【全体】

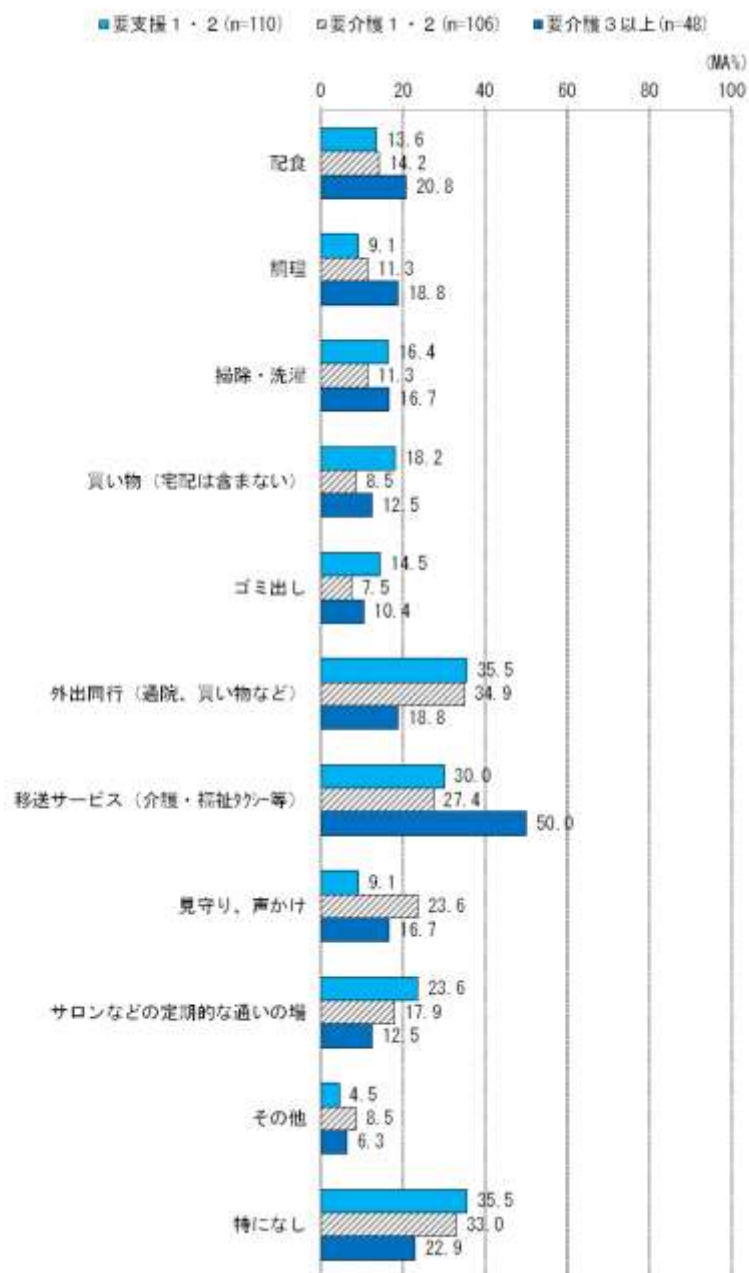
- いずれのサービスも、現在の利用状況に比べ多くなっています。
- いずれの要介護度でも、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が多くなっています。

【要支援1・2】

- 上記のほか、「サロンなどの定期的な通いの場」が多くなっています。

【要介護1・2】

- 他の世帯類型と比較すると、「特になし」が多くなっています。
- 上記のほか、「見守り、声かけ」が多くなっています。

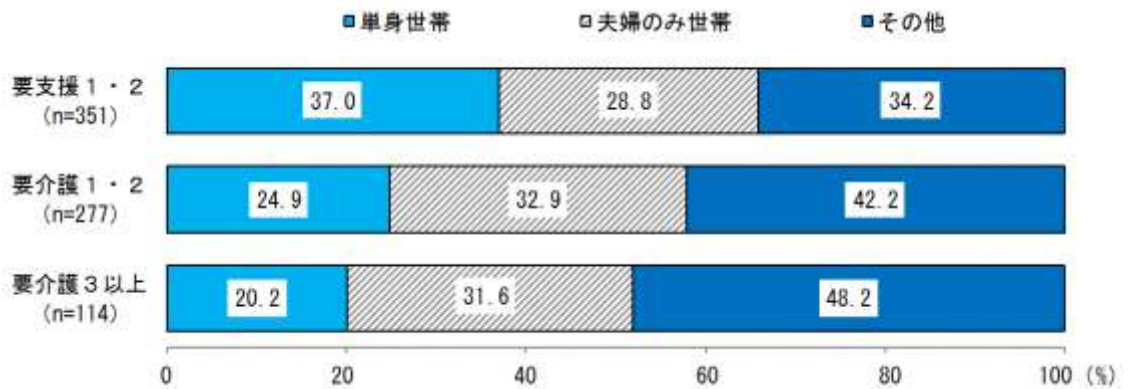


(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

① 要介護度と世帯類型

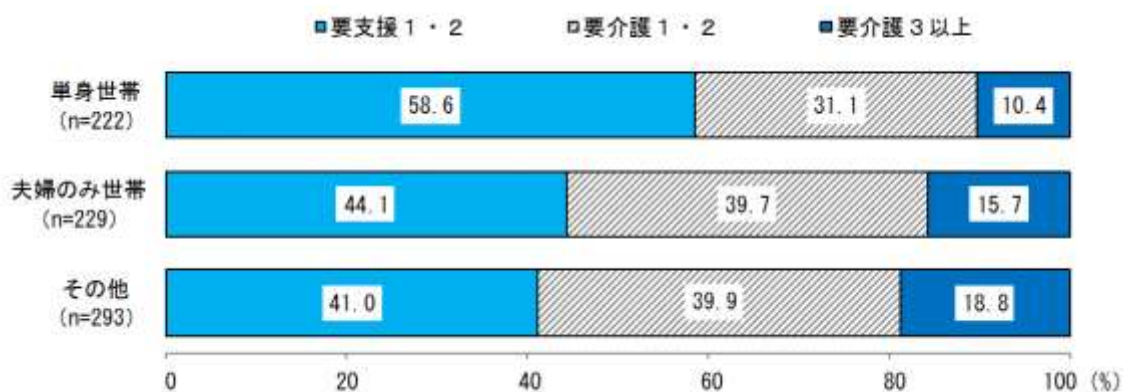
● 要介護度別・世帯類型

【全体】
 ○ 要介護度が高くなるにつれて、同居世帯が多くなる傾向がみられます。
【要介護3以上】
 ○ 単身世帯が20.2%となっています。



● 世帯類型別・要介護度

【全体】
 ○ 単身世帯に比べ、配偶者やその他の同居人がいる世帯で、重度な要介護者が多くなる傾向がみられます。
【要介護3以上】
 ○ 単身世帯が10.4%となっています。

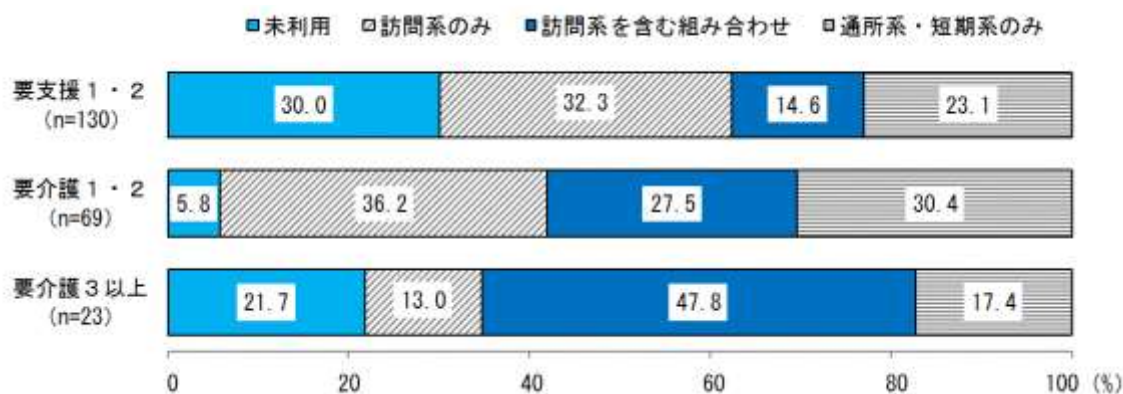


② サービス利用の組み合わせ

● 単身世帯

【全体】

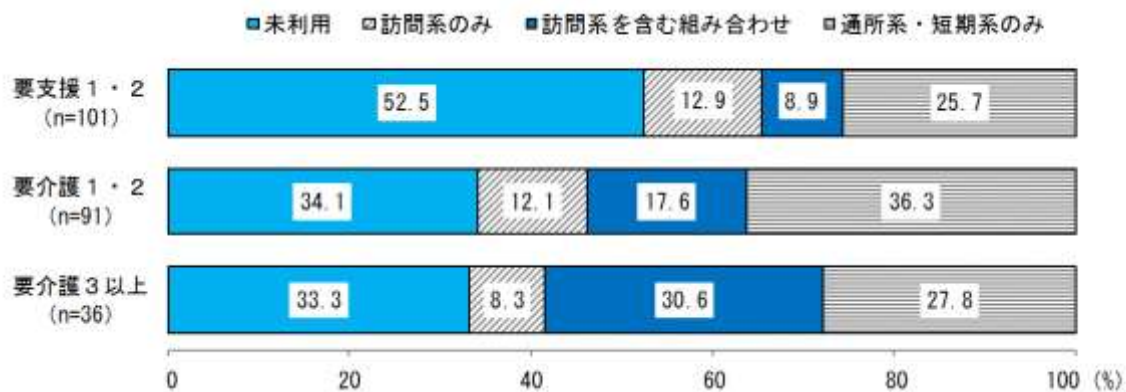
- 要介護1以上で、訪問系サービスの利用が多くなる傾向がみられます。
- 他の世帯類型と比較すると、訪問系サービスの利用が多くなっています。



● 夫婦のみ世帯

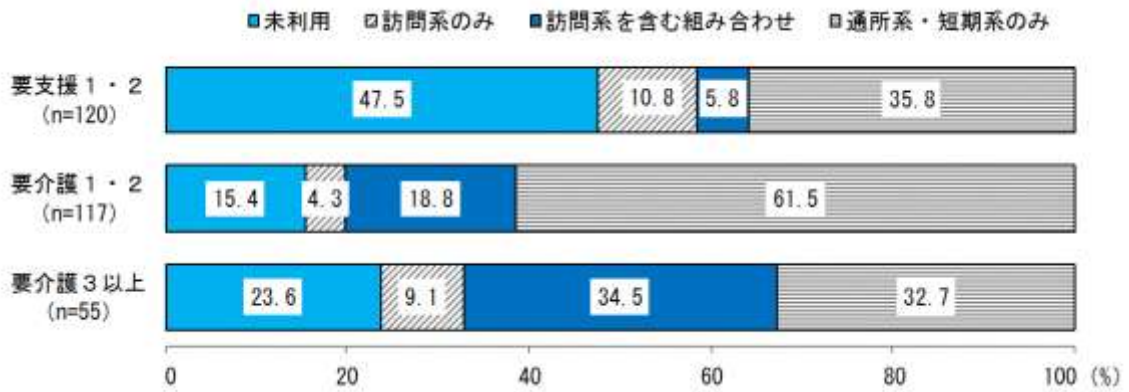
【全体】

- 要介護度が高くなるにつれて、訪問系サービスの利用が多くなる傾向がみられます。
- 単身世帯と比較すると、「未利用」、「通所系・短期系のみ」が多くなっています。



●その他世帯

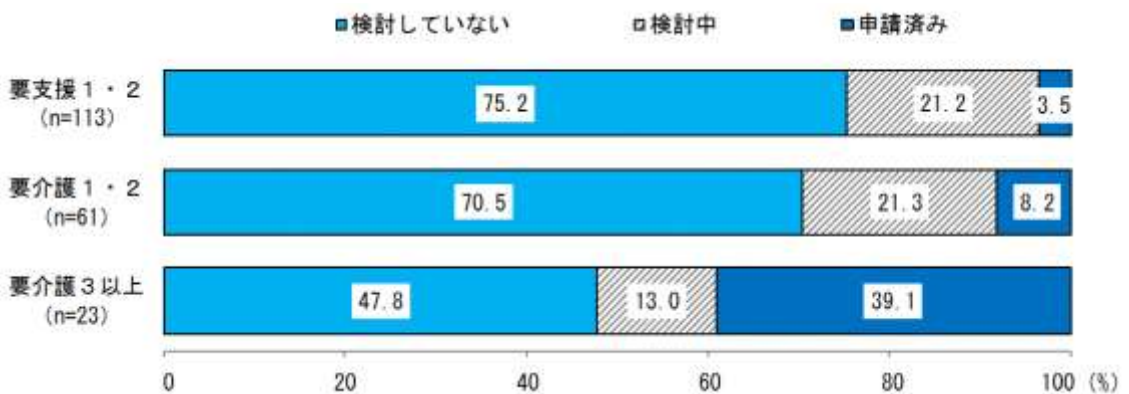
【全体】
 ○ 要介護度が高くなるにつれて、訪問系サービスの利用が多くなる傾向がみられます。
 ○ 他の世帯類型と比較すると、「通所系・短期系のみ」が多くなっています。



③ 施設等への入所・入居の検討状況

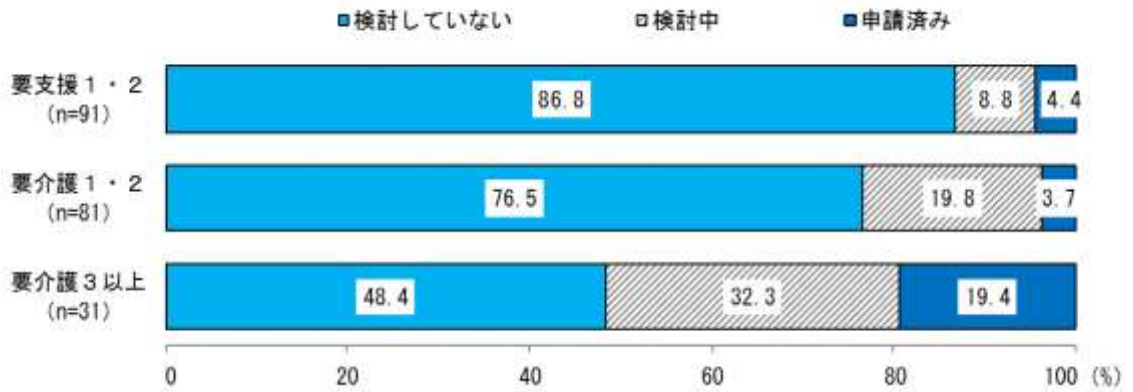
●単身世帯

【全体】
 ○ 他の世帯類型と比較すると、「検討中」、「申請済み」が多くなっています。
【要介護3以上】
 ○ 「申請済み」が39.1%となっています。



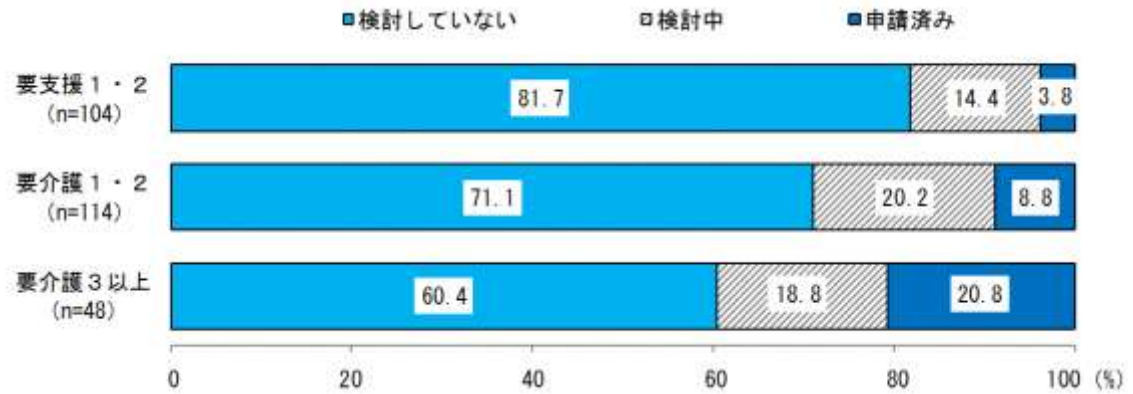
●夫婦のみ世帯

【要支援1・2】
 ○ 他の世帯類型と比較すると、「検討していない」が多くなっています。
【要介護3以上】
 ○ その他世帯と比較すると、「検討中」が多くなっています。



●その他世帯

【要介護3以上】
 ○ 他の世帯類型と比較すると、「検討していない」が多くなっています。

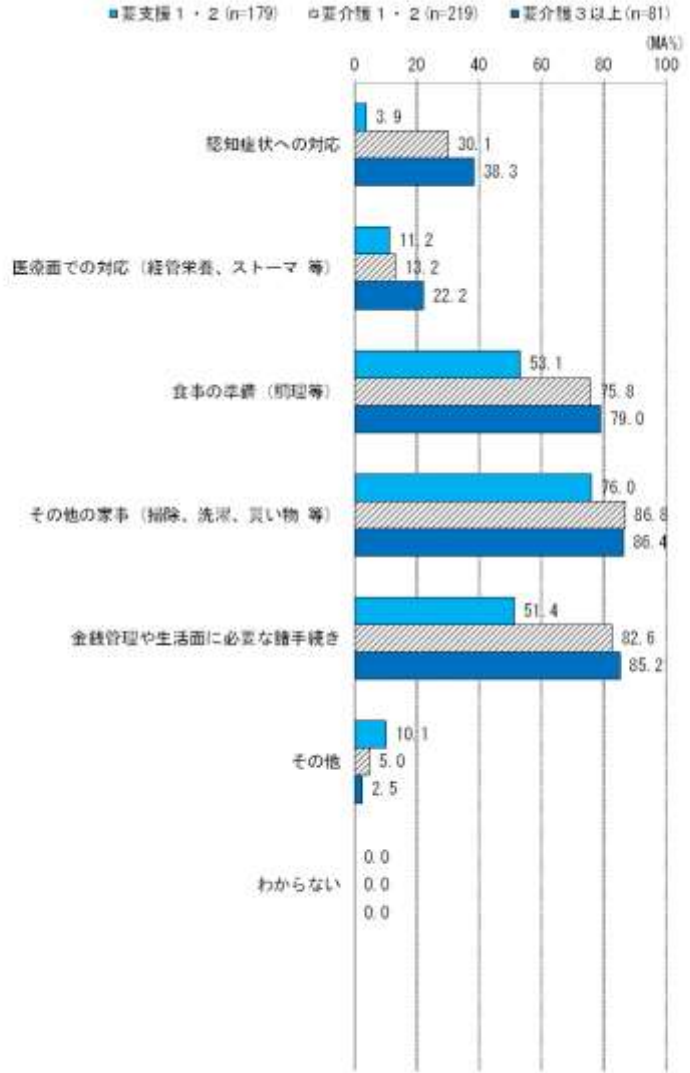
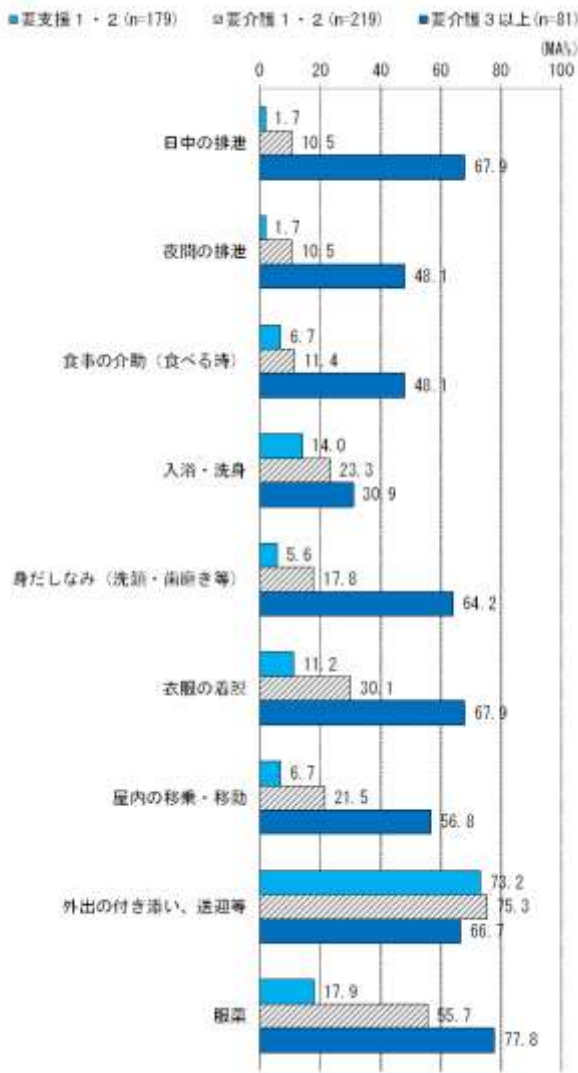


(5) 医療ニーズのある在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

① 主な介護者が行っている介護（医療面での対応）

●要介護度

【全体】
 ○ 要介護度が高くなるにつれて、「服薬」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」を行っている介護者が多くなる傾向がみられます。



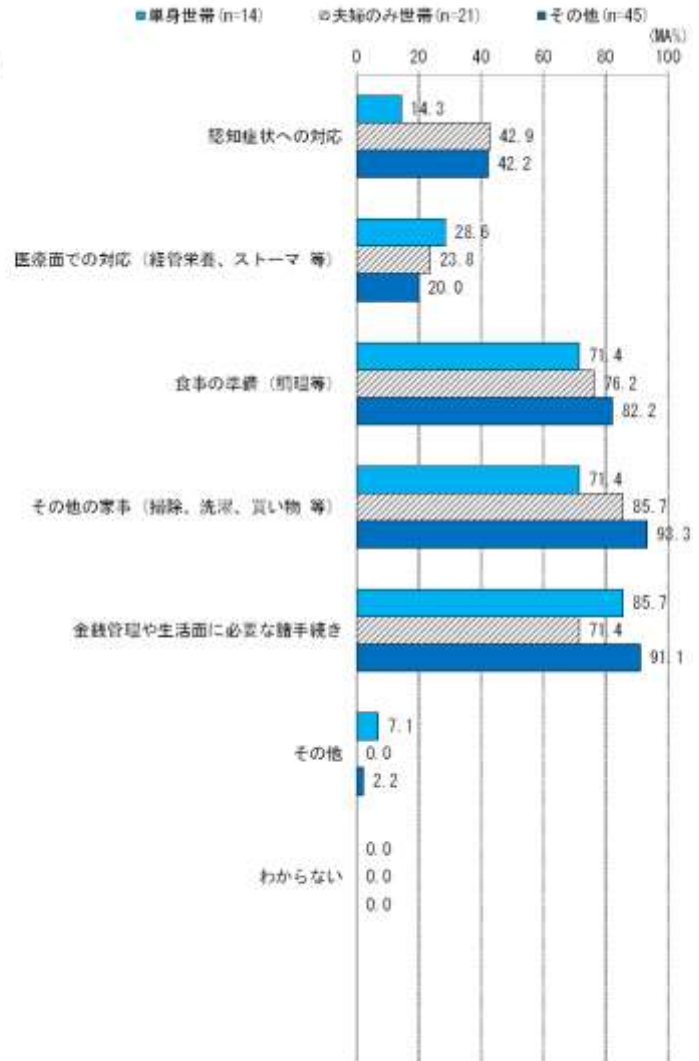
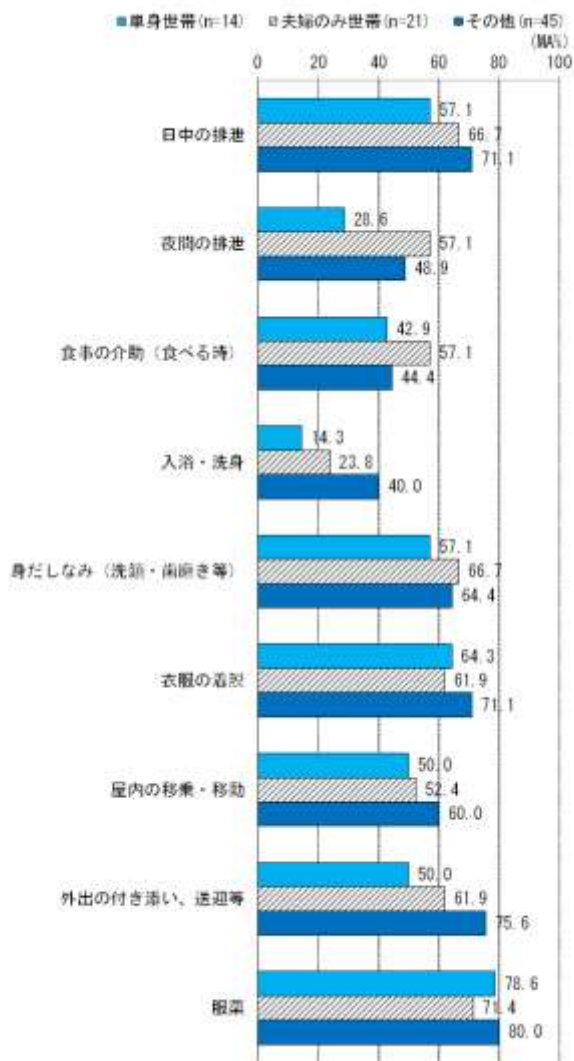
●要介護3以上

【全体】

○ いずれの世帯においても、「服薬」を行っている介護者が多くなっています。

【単身世帯】

○ 「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」が28.6%となっています。

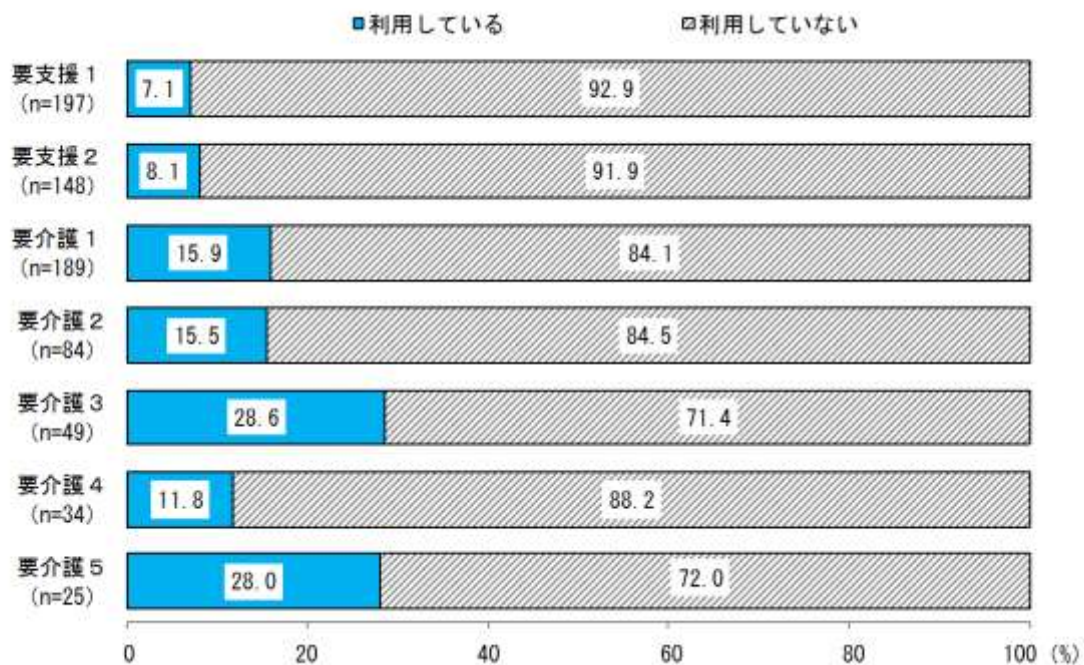


② 訪問診療の利用有無

●要介護度

【全体】

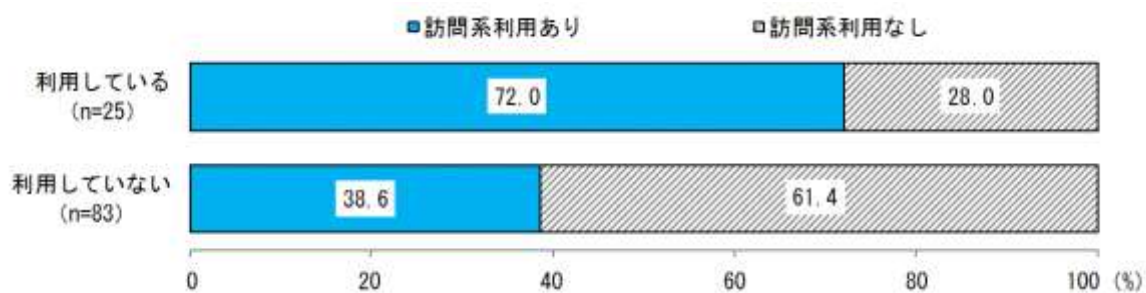
○ 要介護度が高くなるにつれて、「利用している」が多くなる傾向がみられます。



●訪問系サービスの利用有無（要介護 3 以上）

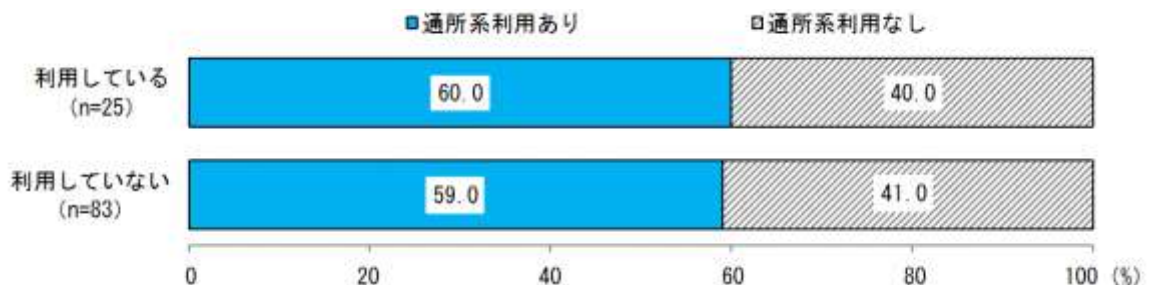
【（訪問診療を）利用している】

○ 「訪問系利用あり」が 72.0%となっています。



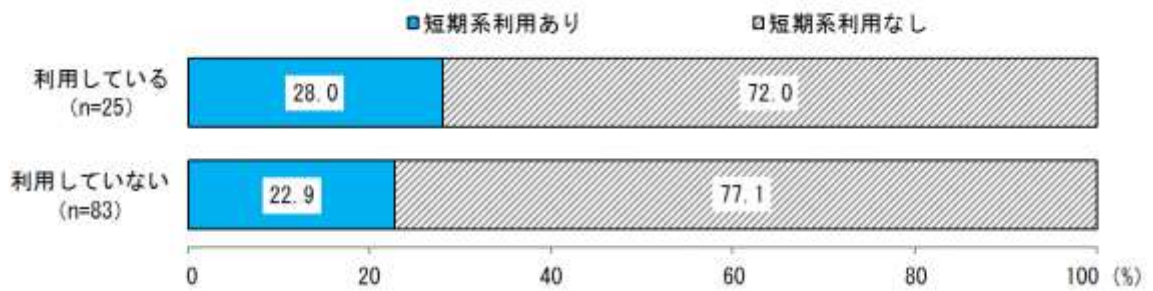
●通所系サービスの利用有無（要介護3以上）

【（訪問診療を）利用している】
○ 「通所系利用あり」が60.0%となっています。



●短期系サービスの利用有無（要介護3以上）

【（訪問診療を）利用している】
○ 「短期系利用あり」が28.0%となっています。



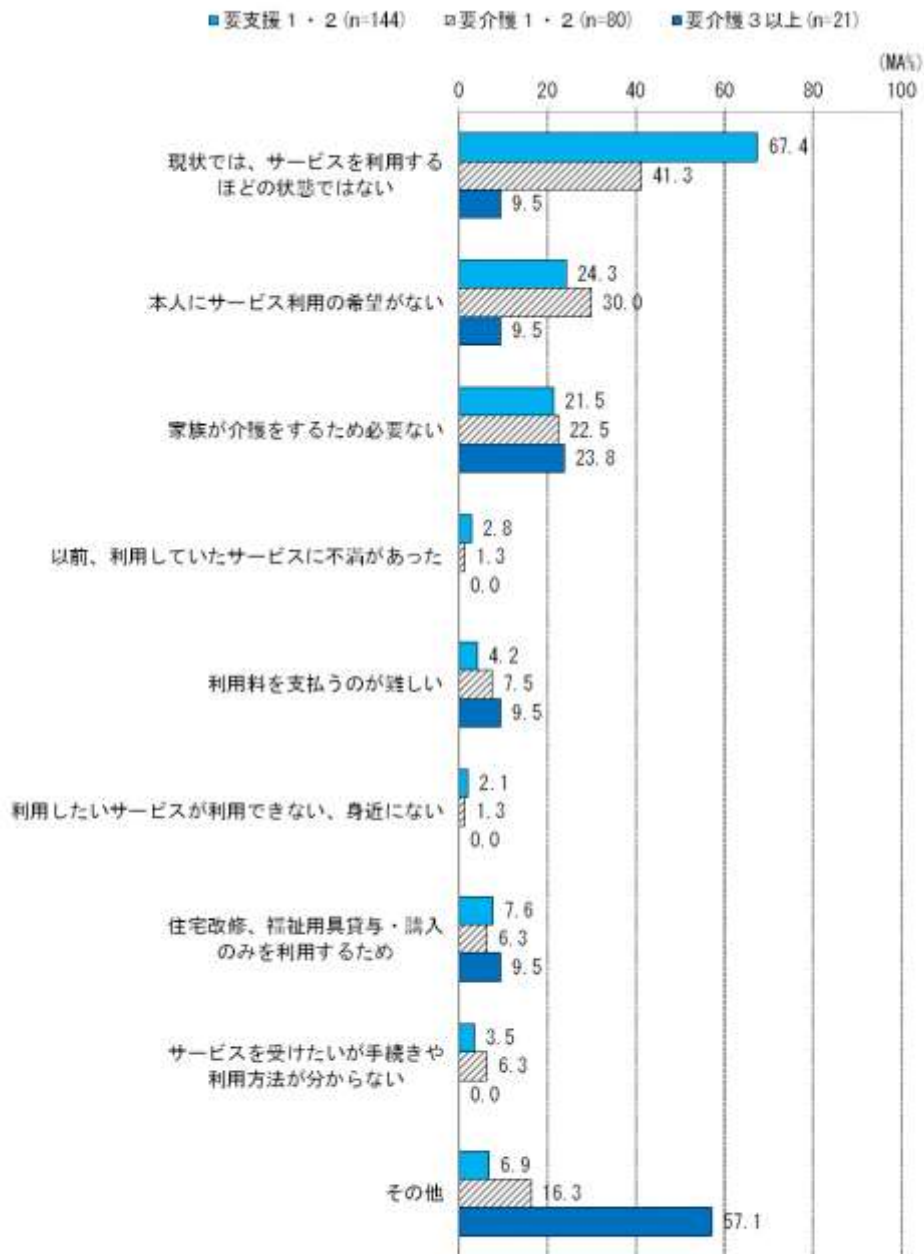
(6) 家族介護に対する支援・サービスの提供体制の検討

① 介護サービス未利用理由

●要介護度

【要介護1・2】
 ○ 「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」が多くなっています。

【要介護3以上】
 ○ 「家族が介護をするため必要がない」が多くなっています。



② 主な介護者の年齢

● 調査対象者本人の年齢

【65歳未満、65～69歳、70歳代】
 ○ 要介護者と同世代が多くなっています。

【80歳代、90歳以上】
 ○ 要介護者の子どもにあたる世代が多くなっています。

